

大泉町
男女共同参画社会に関するアンケート
報告書

令和2年9月 大泉町

目 次

調査の概要	1
調査結果	2
回答者の属性について	2
1 男女平等に関する意識について	6
2 結婚や家庭生活について	8
3 働き方に関すること	14
4 社会活動・地域活動について	22
5 多様性の尊重と人権について	24
6 男女共同参画社会について	32
調査票	36

調査の概要

(1) 調査の目的

令和2年度に「第四次大泉町男女共同参画推進計画」を策定するにあたり、町民の男女共同参画に関する意識の把握及び町が取り組むべき施策の基礎資料とするため、住民意識調査を実施しました。

(2) 調査実施期間

令和2年2月14日（金）～令和2年3月6日（金）

(3) 調査実施対象者

町内在住の18歳以上の方を無作為抽出。合計1,200名

(4) 調査票の配布・回収方法

返信用封筒を同封して発送・郵送回収

(5) 調査票の回収数及び有効回収率

対象	配布数	回収数	回収率
町民	1,200	391	32.6%

(6) その他

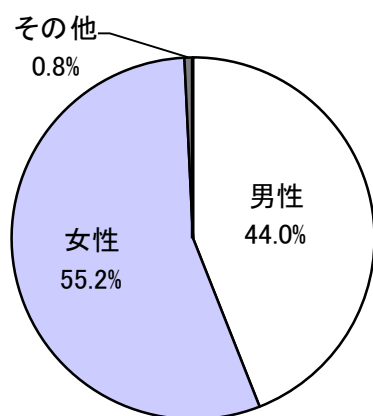
- ・比率はすべて百分率（％）で表し、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。このため、合計比率が100％に満たない場合や超える場合があります。
- ・質問が複数回答となる問は、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問です。このため、合計比率が100％を超える場合があります。

調査結果

回答者の属性について

1 あなたの性別

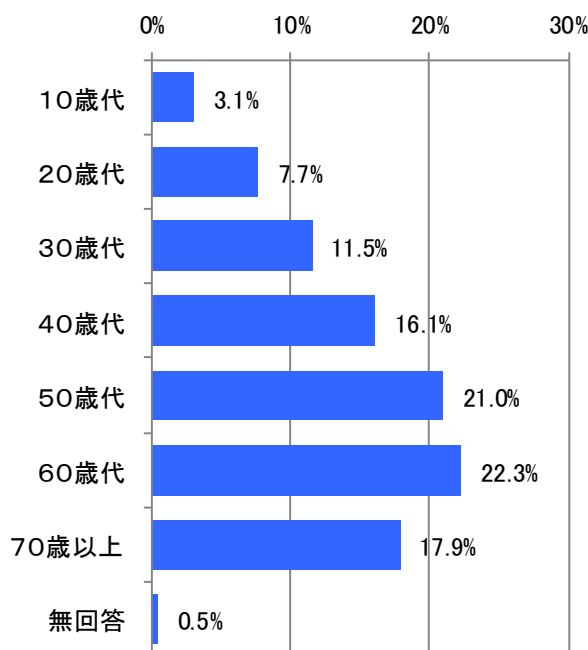
回答者の性別は、男性 44.0%、女性 55.2%、その他 0.8%とやや女性の方が多いなっています。



項目	度数	構成比
男性	172	44.0%
女性	216	55.2%
その他	3	0.8%
回答者数	391	100.0%

2 あなたの年齢

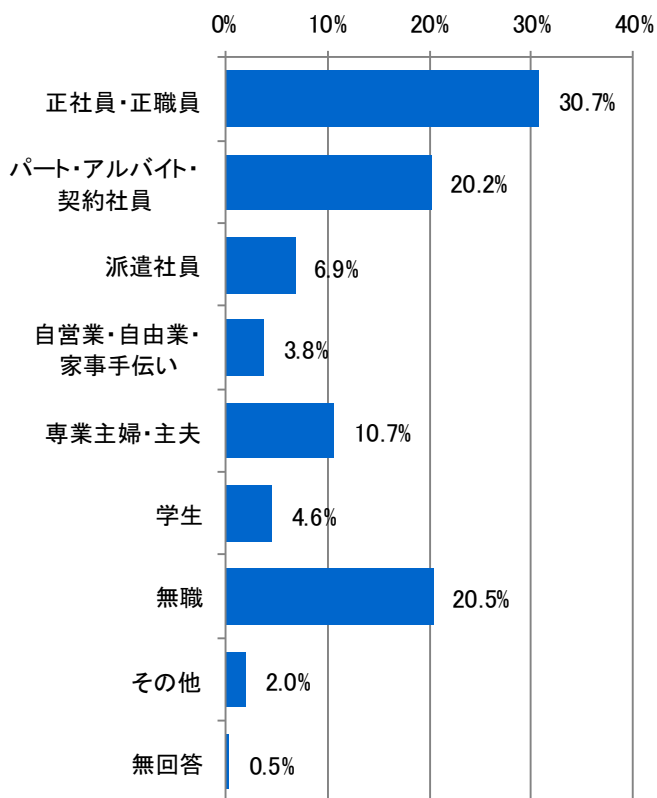
年齢構成では、「60 歳代」までは年齢が上がるに従い割合が多くなっています。最も多い回答者は「60 歳代」の 22.3%、続いて「50 歳代」の 21.0%となっています。



項目	度数	構成比
10歳代	12	3.1%
20歳代	30	7.7%
30歳代	45	11.5%
40歳代	63	16.1%
50歳代	82	21.0%
60歳代	87	22.3%
70歳以上	70	17.9%
無回答	2	0.5%
回答者数	391	100.0%

3 あなたの職業

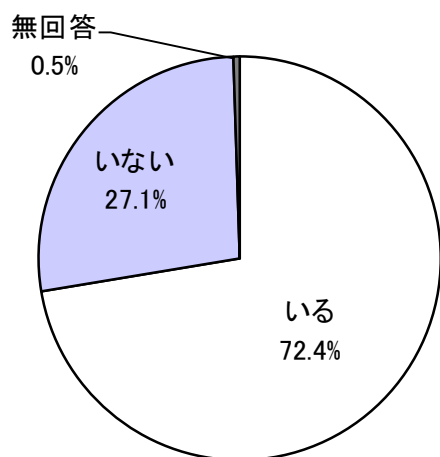
回答者の職業は、「正社員・正職員」が 30.7%と最も多くなっており、続いて「無職」の 20.5%、「パート・アルバイト・契約社員」の 20.2%となっています。



項目	度数	構成比
正社員・正職員	120	30.7%
パート・アルバイト・契約社員	79	20.2%
派遣社員	27	6.9%
自営業・自由業・家事手伝い	15	3.8%
専業主婦・主夫	42	10.7%
学生	18	4.6%
無職	80	20.5%
その他	8	2.0%
無回答	2	0.5%
回答者数	391	100%

4 配偶者（事実婚を含む）・パートナーの有無

配偶者（事実婚を含む）・パートナーが「いる」と回答した方が 72.4%と最も多くなっています。また、「いない」と回答した方は 27.1%、無回答は 0.5%となっています。

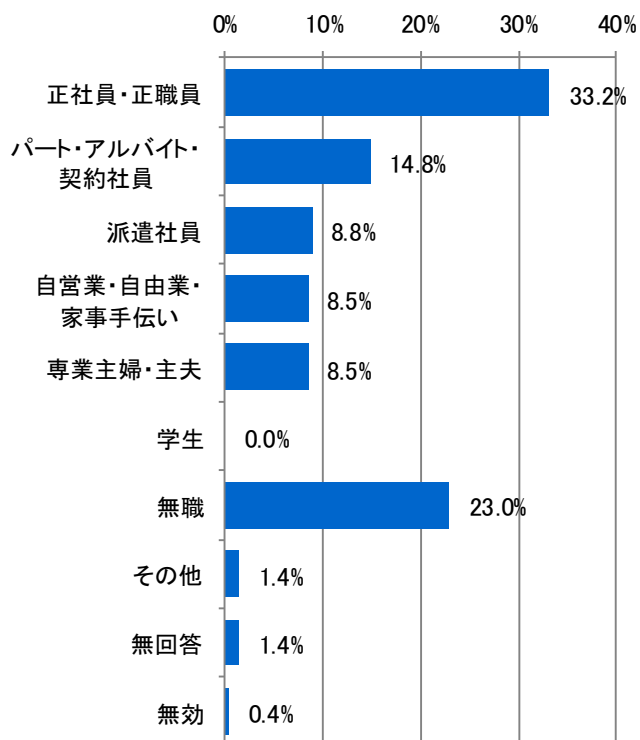


項目	度数	構成比
いる	283	72.4%
いない	106	27.1%
無回答	2	0.5%
回答者数	391	100.0%

5 4で「1 いる」と答えた方にお伺いします

配偶者（事実婚を含む）・パートナーの職業はどれですか。

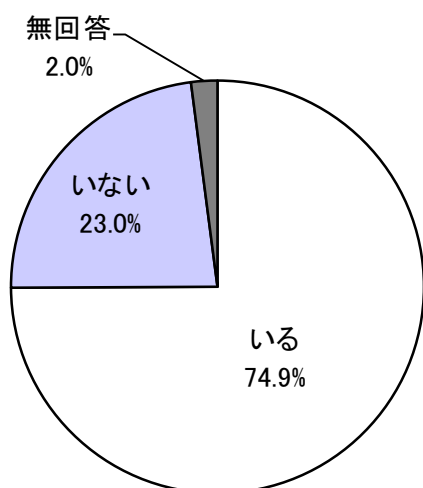
配偶者（事実婚を含む）・パートナーの職業は「正社員・正職員」と回答した方が33.2%と最も多く、続いて「無職」23.0%、「パート・アルバイト・契約社員」14.8%となっています。



項目	度数	構成比
正社員・正職員	94	33.2%
パート・アルバイト・契約社員	42	14.8%
派遣社員	25	8.8%
自営業・自由業・家事手伝い	24	8.5%
専業主婦・主夫	24	8.5%
学生	0	0.0%
無職	65	23.0%
その他	4	1.4%
無回答	4	1.4%
無効	1	0.4%
回答者数	283	100.0%

6 お子さんの有無

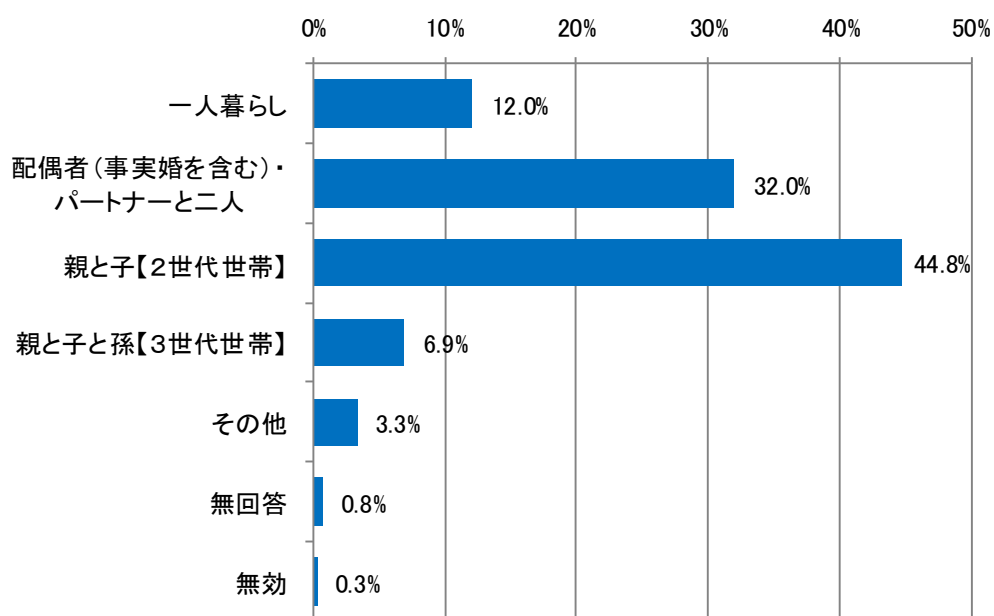
「いる」と回答した方が74.9%で最も多くなっています。また、「いない」と回答した方は23.0%、無回答は2.0%となっています。



項目	度数	構成比
いる	293	74.9%
いない	90	23.0%
無回答	8	2.0%
回答者数	391	100.0%

7 家族構成について

「親と子【2世代世帯】」と回答した方が44.8%と最も多く、続いて「配偶者（事実婚含む）・パートナーと二人」32.0%となっています。

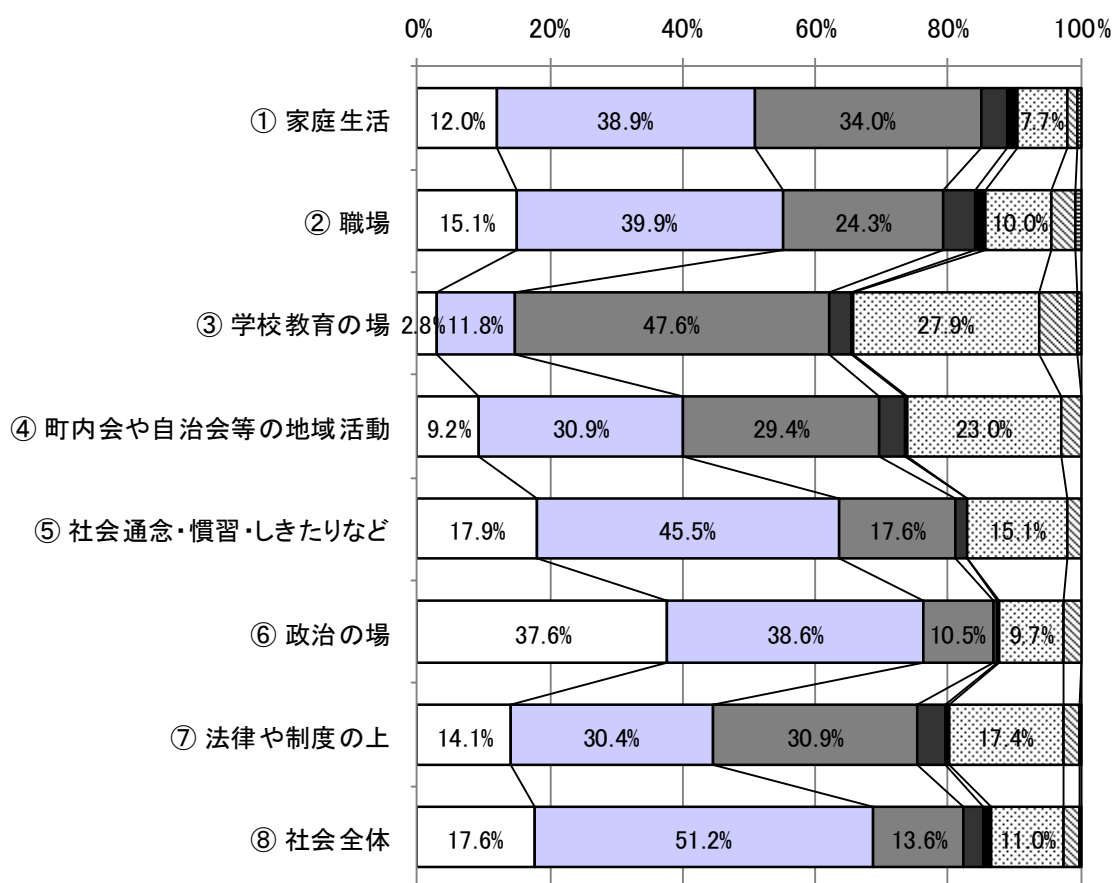


項目	度数	構成比
一人暮らし	47	12.0%
配偶者(事実婚を含む)・パートナーと二人	125	32.0%
親と子【2世代世帯】	175	44.8%
親と子と孫【3世代世帯】	27	6.9%
その他	13	3.3%
無回答	3	0.8%
無効	1	0.3%
回答者数	391	100.0%

1 男女平等に関する意識について

問1 あなたは、次のような分野で男女は平等になっていると思いますか。
(①～⑧の各項目について、1つに○)

「男女平等になっている」と回答した方が最も多い項目は「③ 学校教育の場」の47.6%となっています。また、「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した方が最も多い項目は「⑥ 政治の場」の76.2%となっており、続いて「⑧ 社会全体」68.8%、「⑤ 社会通念・慣習・しきたりなど」63.4%となっています。一方、「女性の方が優遇されている」、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と回答した方は各項目で低い割合となっています。



- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等になっている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答
- 無効

項目	男性の方が優遇 されている	どちらかといえば 男性の方が優遇 されている	平等になっている	どちらかといえば 女性の方が優遇 されている	女性の方が優遇 されている	わからない	無回答	無効	回答者数
① 家庭生活	47	152	133	16	5	30	6	2	391
② 職場	59	156	95	19	6	39	14	3	391
③ 学校教育の場	11	46	186	13	1	109	23	2	391
④ 町内会や自治会等の地域活動	36	121	115	16	1	90	12	0	391
⑤ 社会通念・慣習・しきたりなど	70	178	69	7	0	59	8	0	391
⑥ 政治の場	147	151	41	3	1	38	10	0	391
⑦ 法律や制度の上	55	119	121	16	2	68	9	1	391
⑧ 社会全体	69	200	53	12	4	43	9	1	391

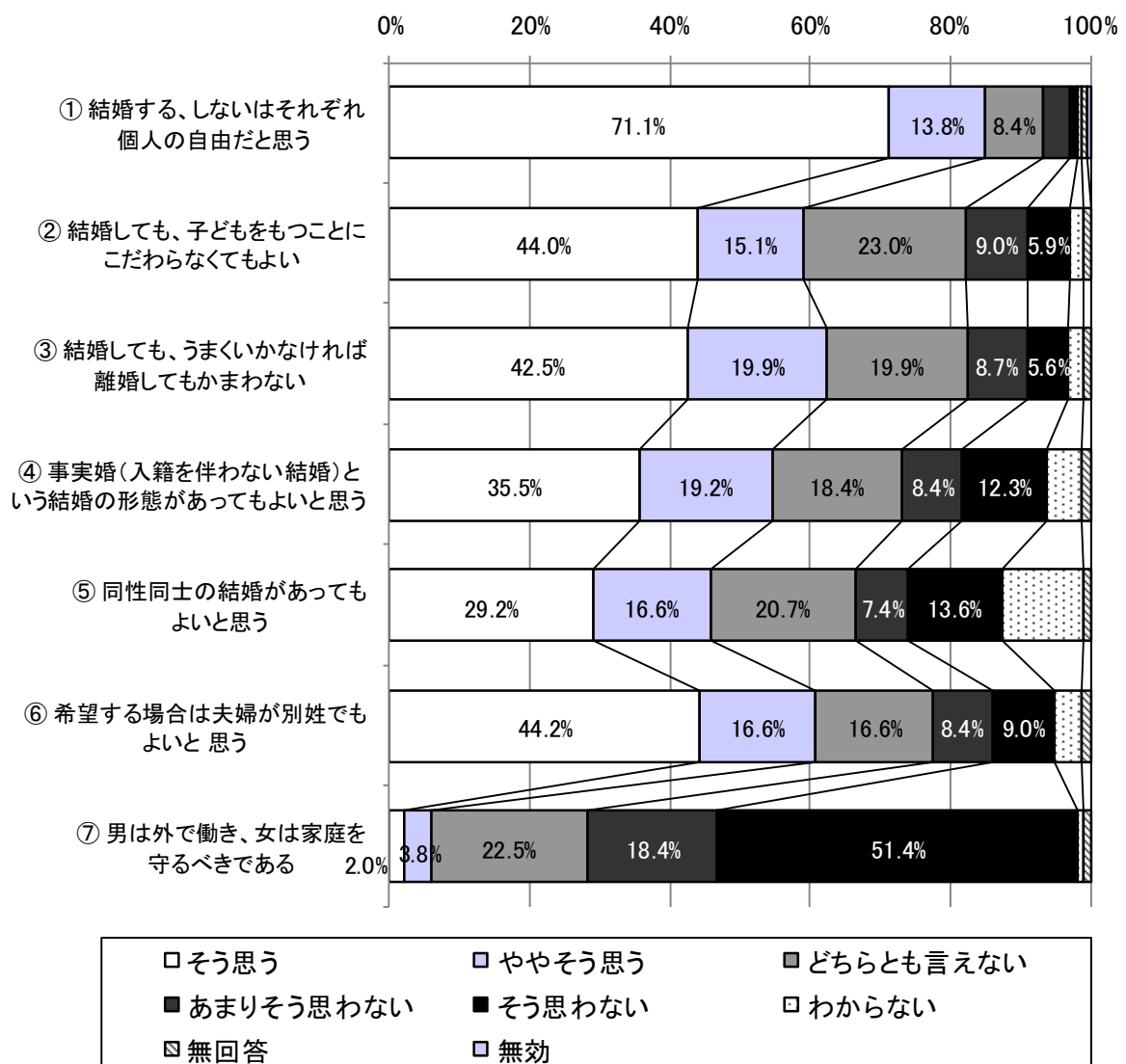
項目（構成比）	男性の方が優遇 されている	どちらかといえば 男性の方が優遇 されている	平等になっている	どちらかといえば 女性の方が優遇 されている	女性の方が優遇 されている	わからない	無回答	無効	計
① 家庭生活	12.0%	38.9%	34.0%	4.1%	1.3%	7.7%	1.5%	0.5%	100.0%
② 職場	15.1%	39.9%	24.3%	4.9%	1.5%	10.0%	3.6%	0.8%	100.0%
③ 学校教育の場	2.8%	11.8%	47.6%	3.3%	0.3%	27.9%	5.9%	0.5%	100.0%
④ 町内会や自治会等の地域活動	9.2%	30.9%	29.4%	4.1%	0.3%	23.0%	3.1%	0.0%	100.0%
⑤ 社会通念・慣習・しきたりなど	17.9%	45.5%	17.6%	1.8%	0.0%	15.1%	2.0%	0.0%	100.0%
⑥ 政治の場	37.6%	38.6%	10.5%	0.8%	0.3%	9.7%	2.6%	0.0%	100.0%
⑦ 法律や制度の上	14.1%	30.4%	30.9%	4.1%	0.5%	17.4%	2.3%	0.3%	100.0%
⑧ 社会全体	17.6%	51.2%	13.6%	3.1%	1.0%	11.0%	2.3%	0.3%	100.0%

2 結婚や家庭生活について

問2 あなたは、結婚や家庭生活に関する次の考え方について、どう思いますか。
(①～⑦の各項目について、1つに○)

「① 結婚する、しないはそれぞれ個人の自由だと思う」、「② 結婚しても、子どもをもつことにこだわらなくてもよい」、「③ 結婚しても、うまくいかなければ離婚してもかまわない」、「④ 事実婚（入籍を伴わない結婚）という結婚の形態があってもよいと思う」、「⑤ 同性同士の結婚があってもよいと思う」、「⑥ 希望する場合は夫婦が別姓でもよいと思う」の項目において、一番割合が高かったのは「そう思う」の回答で、それぞれ 71.1%、44.0%、42.5%、35.5%、29.2%、44.2%となっています。

「⑦ 男は外で働き、女は家庭を守るべきである」の項目に「そう思う」、「ややそう思う」と回答した方は 5.8%となっています。



項目	そう 思う	やや そう 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	無 効	回 答 者 数
① 結婚する、しないはそれぞれ個人の自由だと思う	278	54	33	15	4	2	3	2	391
② 結婚しても、子どもをもつことにこだわらなくてもよい	172	59	90	35	23	8	4	0	391
③ 結婚しても、うまくいかなければ離婚してもかまわない	166	78	78	34	22	9	4	0	391
④ 事実婚(入籍を伴わない結婚)という結婚の形態があってもよいと思う	139	75	72	33	48	19	5	0	391
⑤ 同性同士の結婚があってもよいと思う	114	65	81	29	53	45	4	0	391
⑥ 希望する場合は夫婦が別姓でもよいと思う	173	65	65	33	35	15	5	0	391
⑦ 男は外で働き、女は家庭を守るべきである	8	15	88	72	201	3	4	0	391

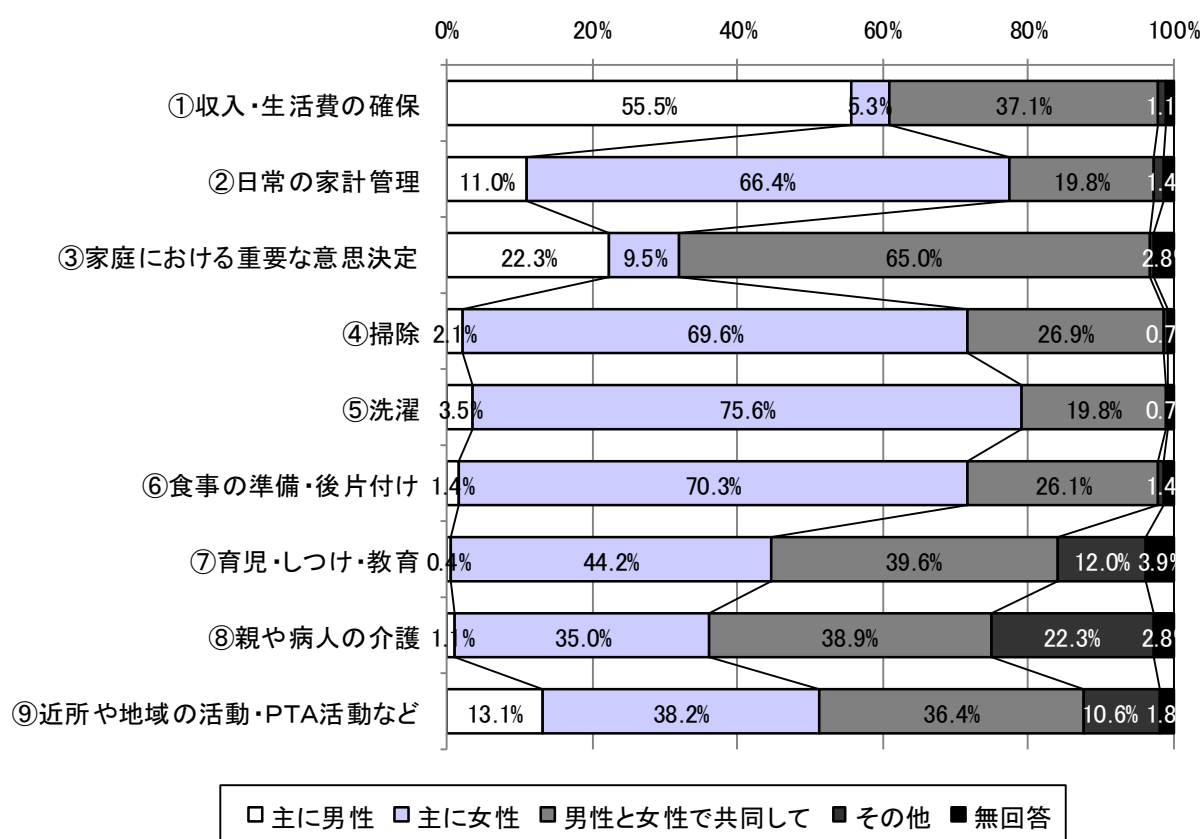
項目(構成比)	そう 思う	やや そう 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	無 効	計
①結婚する、しないはそれぞれ個人の自由だと思う	71.1%	13.8%	8.4%	3.8%	1.0%	0.5%	0.8%	0.5%	100.0%
②結婚しても、子どもをもつことにこだわらなくてもよい	44.0%	15.1%	23.0%	9.0%	5.9%	2.0%	1.0%	0.0%	100.0%
③結婚しても、うまくいかなければ離婚してもかまわない	42.5%	19.9%	19.9%	8.7%	5.6%	2.3%	1.0%	0.0%	100.0%
④事実婚(入籍を伴わない結婚)という結婚の形態があってもよいと思う	35.5%	19.2%	18.4%	8.4%	12.3%	4.9%	1.3%	0.0%	100.0%
⑤同性同士の結婚があってもよいと思う	29.2%	16.6%	20.7%	7.4%	13.6%	11.5%	1.0%	0.0%	100.0%
⑥希望する場合は夫婦が別姓でもよいと思う	44.2%	16.6%	16.6%	8.4%	9.0%	3.8%	1.3%	0.0%	100.0%
⑦男は外で働き、女は家庭を守るべきである	2.0%	3.8%	22.5%	18.4%	51.4%	0.8%	1.0%	0.0%	100.0%

問3 配偶者（事実婚を含む）・パートナーのいる方にお伺いします

あなたの家庭では、次の役割は誰が分担していますか。

（①～⑨の各項目について、1つに○）

「①収入・生活費の確保」の項目では、「主に男性」との回答が一番多く、55.5%となっています。一方、「②日常の家計管理」、「④掃除」、「⑤洗濯」、「⑥食事の準備・後片付け」、「⑦育児・しつけ・教育」、「⑨近所や地域活動・PTA活動など」の項目において、「主に女性」と回答した方が一番多く、それぞれ、66.4%、69.6%、75.6%、70.3%、44.2%、38.2%となっています。また、「③家庭における重要な意思決定」、「親や病人の介護」は「共同で行う」との回答が一番多くなっています。



（全体数 N=391 回答者数 N=283 非該当者数 N=108）

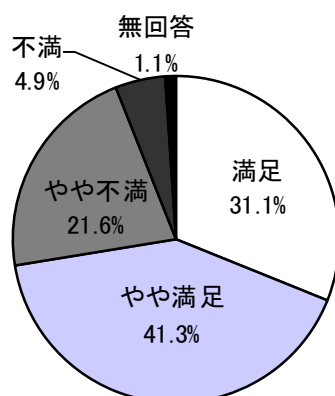
項目（構成比）	主に男性	主に女性	で男性と女性共同として	その他	無回答	回答者数
①収入・生活費の確保	157	15	105	3	3	283
②日常の家計管理	31	188	56	4	4	283
③家庭における重要な意思決定	63	27	184	1	8	283
④掃除	6	197	76	2	2	283
⑤洗濯	10	214	56	1	2	283
⑥食事の準備・後片付け	4	199	74	2	4	283
⑦育児・しつけ・教育	1	125	112	34	11	283
⑧親や病人の介護	3	99	110	63	8	283
⑨近所や地域の活動・PTA活動など	37	108	103	30	5	283

項目	主に男性	主に女性	で男性と女性共同として	その他	無回答	計
①収入・生活費の確保	55.5%	5.3%	37.1%	1.1%	1.1%	100.0%
②日常の家計管理	11.0%	66.4%	19.8%	1.4%	1.4%	100.0%
③家庭における重要な意思決定	22.3%	9.5%	65.0%	0.4%	2.8%	100.0%
④掃除	2.1%	69.6%	26.9%	0.7%	0.7%	100.0%
⑤洗濯	3.5%	75.6%	19.8%	0.4%	0.7%	100.0%
⑥食事の準備・後片付け	1.4%	70.3%	26.1%	0.7%	1.4%	100.0%
⑦育児・しつけ・教育	0.4%	44.2%	39.6%	12.0%	3.9%	100.0%
⑧親や病人の介護	1.1%	35.0%	38.9%	22.3%	2.8%	100.0%
⑨近所や地域の活動・PTA活動など	13.1%	38.2%	36.4%	10.6%	1.8%	100.0%

問4 配偶者（事実婚を含む）・パートナーのいる方にお伺いします

あなたは、家庭生活における今の役割分担についてどう思いますか。（1つに○）

「やや満足」と回答した方が41.3%と最も多く、続いて「満足」の回答が31.1%となっています。

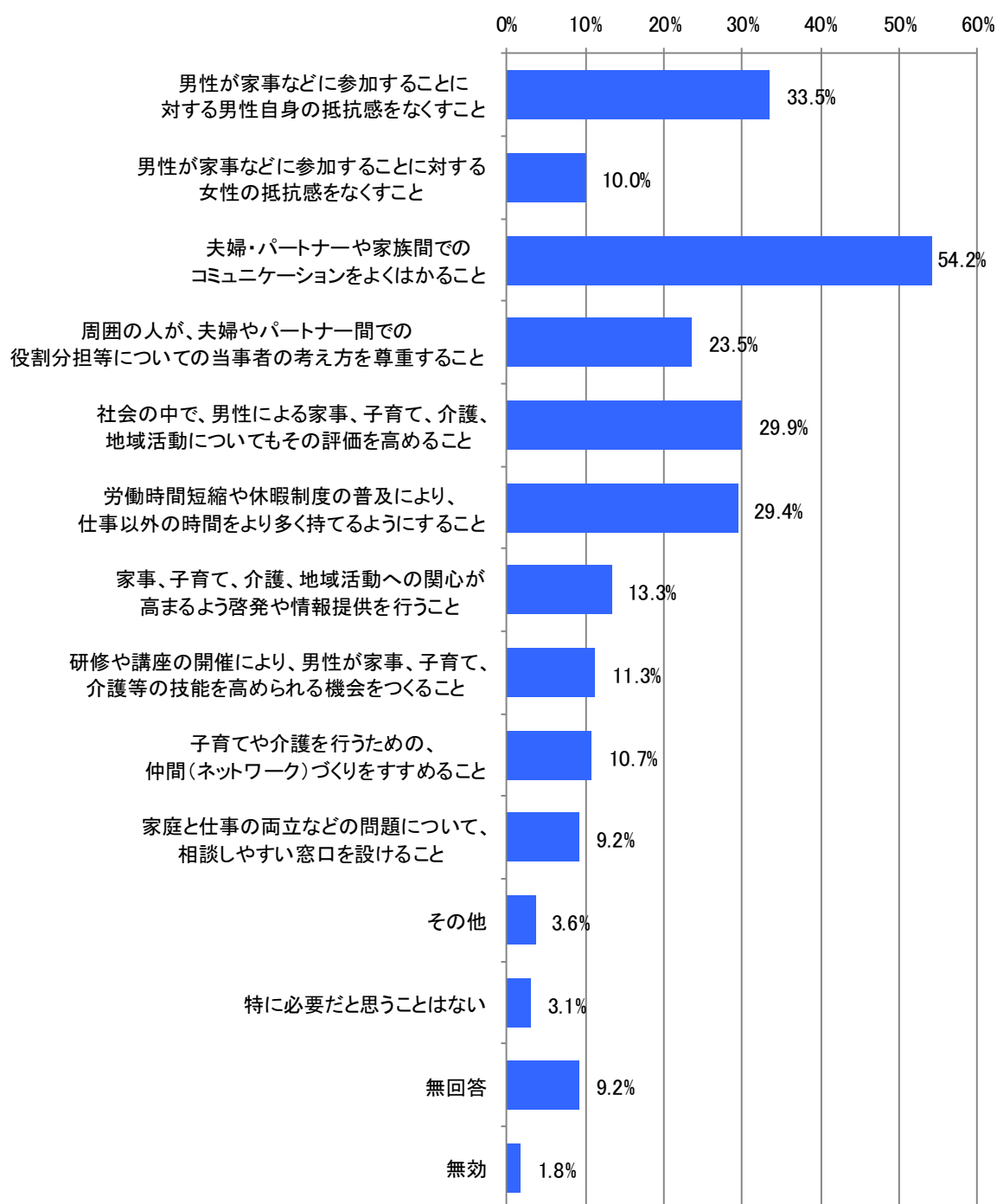


項目	度数	構成比
満足	88	31.1%
やや満足	117	41.3%
やや不満	61	21.6%
不満	14	4.9%
無回答	3	1.1%
回答者数	283	100.0%

（全体数 N=391 回答者数 N=283 非該当者数 N=108）

問5 あなたは、今後、男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「夫婦・パートナーや家族間でのコミュニケーションをよくはかること」と回答した方が54.2%と最も多く、続いて「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」の33.5%、「社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること」の29.9%となっています。

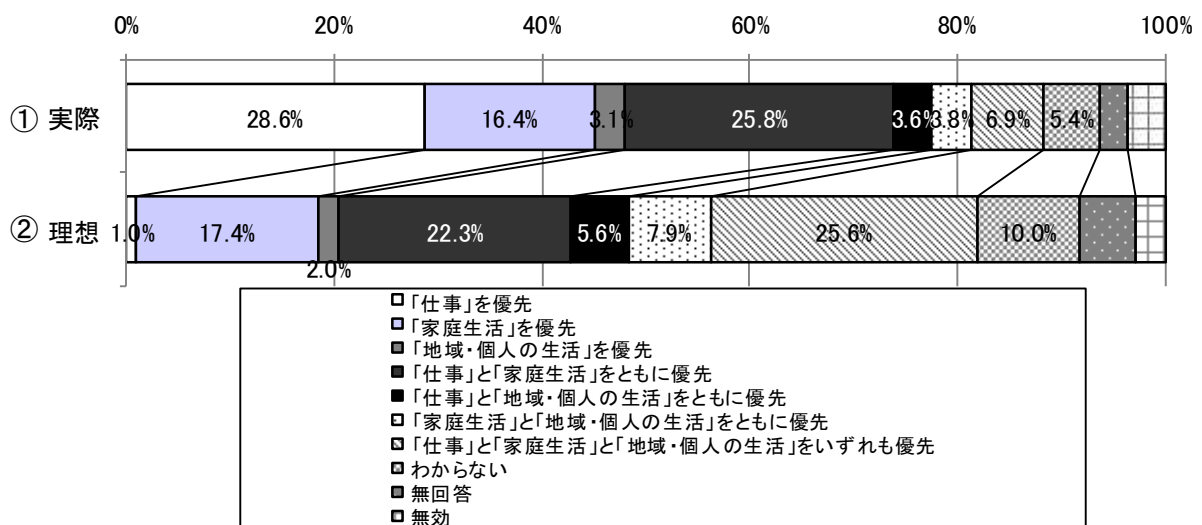


項目	度数	構成比
男性が家事などに参加することに対する 男性自身の抵抗感をなくすこと	131	33.5%
男性が家事などに参加することに対する 女性の抵抗感をなくすこと	39	10.0%
夫婦・パートナーや家族間での コミュニケーションをよくはかること	212	54.2%
周囲の人が、夫婦やパートナー間での 役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること	92	23.5%
社会の中で、男性による家事、子育て、介護、 地域活動についてもその評価を高めること	117	29.9%
労働時間短縮や休暇制度の普及により、 仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	115	29.4%
家事、子育て、介護、地域活動への関心が 高まるよう啓発や情報提供を行うこと	52	13.3%
研修や講座の開催により、男性が家事、子育て、 介護等の技能を高められる機会をつくること	44	11.3%
子育てや介護を行うための、 仲間(ネットワーク)づくりをすすめること	42	10.7%
家庭と仕事の両立などの問題について、 相談しやすい窓口を設けること	36	9.2%
その他	14	3.6%
特に必要だと思わない	12	3.1%
無回答	36	9.2%
無効	7	1.8%
回答者数	391	

3 働き方に関すること

問6 日常生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、あなたの実際の生活と理想の生活に最も近いものはどれですか。（①、②の各項目について、1つに○）

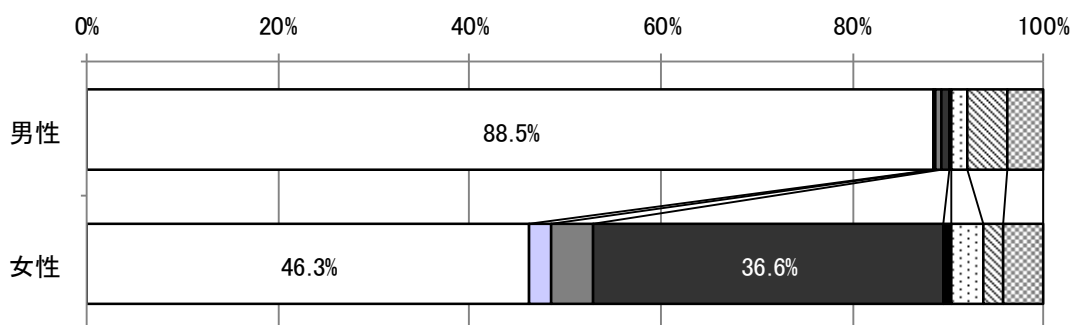
「実際の生活」では「『仕事』を優先」と回答した方が28.6%と最も多い一方、「理想の生活」では、「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をいずれも優先」と回答した方が25.6%と最も多く、続いて「『仕事』と『家庭生活』をともに優先」の22.3%となっています。



項目	度数		構成比	
	実際	理想	実際	理想
「仕事」を優先	112	4	28.6%	1.0%
「家庭生活」を優先	64	68	16.4%	17.4%
「地域・個人の生活」を優先	12	8	3.1%	2.0%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先	101	87	25.8%	22.3%
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	14	22	3.6%	5.6%
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	15	31	3.8%	7.9%
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をいずれも優先	27	100	6.9%	25.6%
わからない	21	39	5.4%	10.0%
無回答	11	21	2.8%	5.4%
無効	14	11	3.6%	2.8%
回答者数	391	391	100.0%	100.0%

問7 あなたは、男女が職業を持つことについて、どう思いますか。
次の中から男女別に1つずつ選んで（ ）内に番号を記入してください。

男性の場合、「結婚や出産、育児にかかわらず職業を持ち続けた方がよい」と回答した方が最も多く、88.5%となっています。女性の場合も、「結婚や出産、育児にかかわらず職業を持ち続けた方がよい」と回答した方が最も多く46.3%、続いて「子どもができれば職業をやめ、手が離れたら再び持つ方がよい」の36.6%となっています。

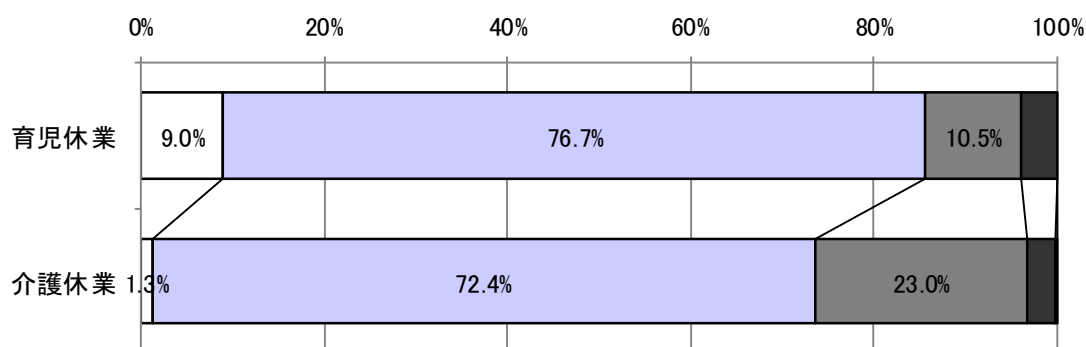


- 結婚や出産、育児にかかわらず職業を持ち続けた方がよい
- ▣ 結婚するまでは職業を持つ方がよい
- 子どもができるまでは職業を持つ方がよい
- 子どもができれば職業をやめ、手が離れたら再び持つ方がよい
- 職業を持たない方がよい
- その他
- 無回答
- 無効

項目	度数		構成比	
	男性	女性	男性	女性
結婚や出産、育児にかかわらず職業を持ち続けた方がよい	346	181	88.5%	46.3%
結婚するまでは職業を持つ方がよい	1	9	0.3%	2.3%
子どもができるまでは職業を持つ方がよい	2	17	0.5%	4.3%
子どもができれば職業をやめ、手が離れたら再び持つ方がよい	3	143	0.8%	36.6%
職業を持たない方がよい	1	3	0.3%	0.8%
その他	7	13	1.8%	3.3%
無回答	16	8	4.1%	2.0%
無効	15	17	3.8%	4.3%
回答者数	391	391	100.0%	100.0%

問8 あなたは、次にあげる制度をご存じですか。また利用したことがありますか。
(①、②の各項目について、1つに○)

「育児休業」、「介護休業」とともに「知っているが、利用したことはない」と回答した方が最も多く、それぞれ、76.7%、72.4%となっています。

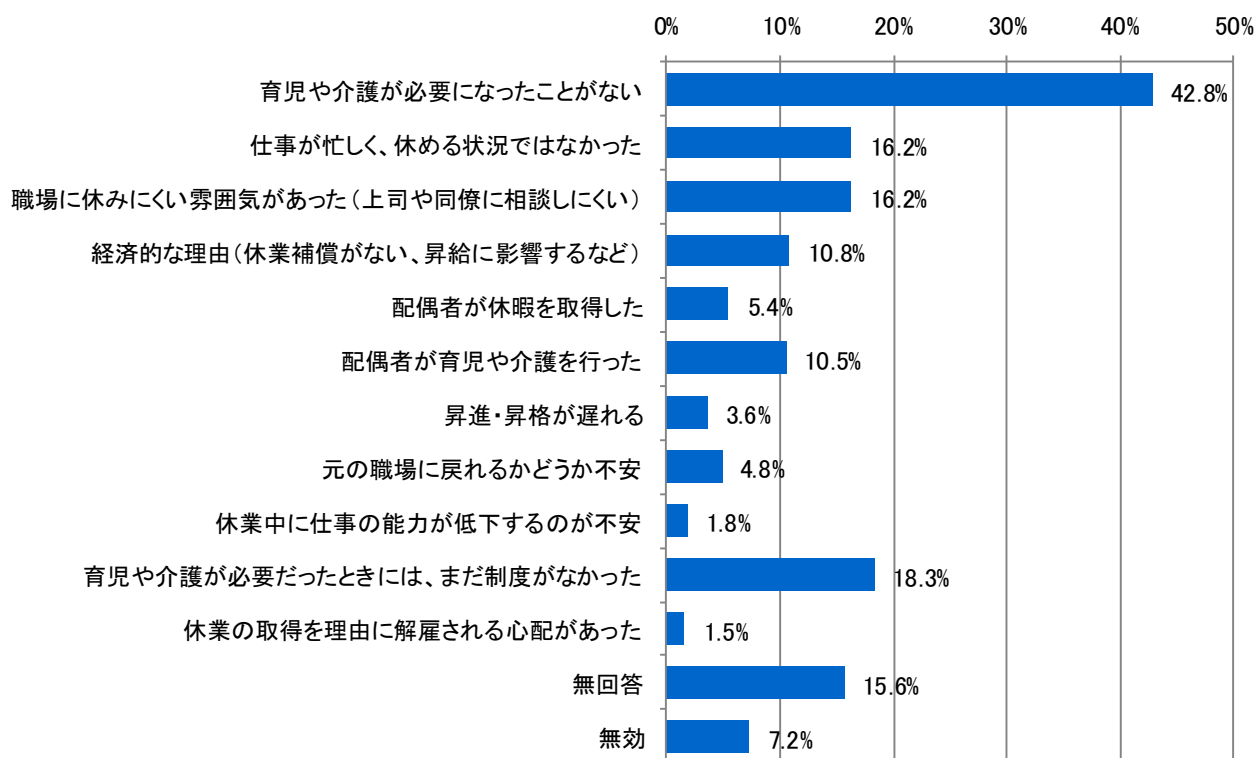


□ 利用したことがある □ 知っているが、利用したことはない ■ 知らない ■ 無回答 ■ 無効

項目	度数		構成比	
	育児休業	介護休業	育児休業	介護休業
利用したことがある	35	5	9.0%	1.3%
知っているが、利用したことはない	300	283	76.7%	72.4%
知らない	41	90	10.5%	23.0%
無回答	15	12	3.8%	3.1%
無効	0	1	0.0%	0.3%
回答者数	391	391	100.0%	100.0%

問9 問8で「2 知っているが、利用したことはない」と答えた方にお伺いします
あなたが、これらの制度を利用しなかった理由として、当てはまるものはどれですか。
(〇はいくつでも)

「育児や介護が必要になったことがない」と回答した方が42.8%と最も多く、続いて、「育児や介護が必要だったときには、まだ制度がなかった」の18.3%となってい



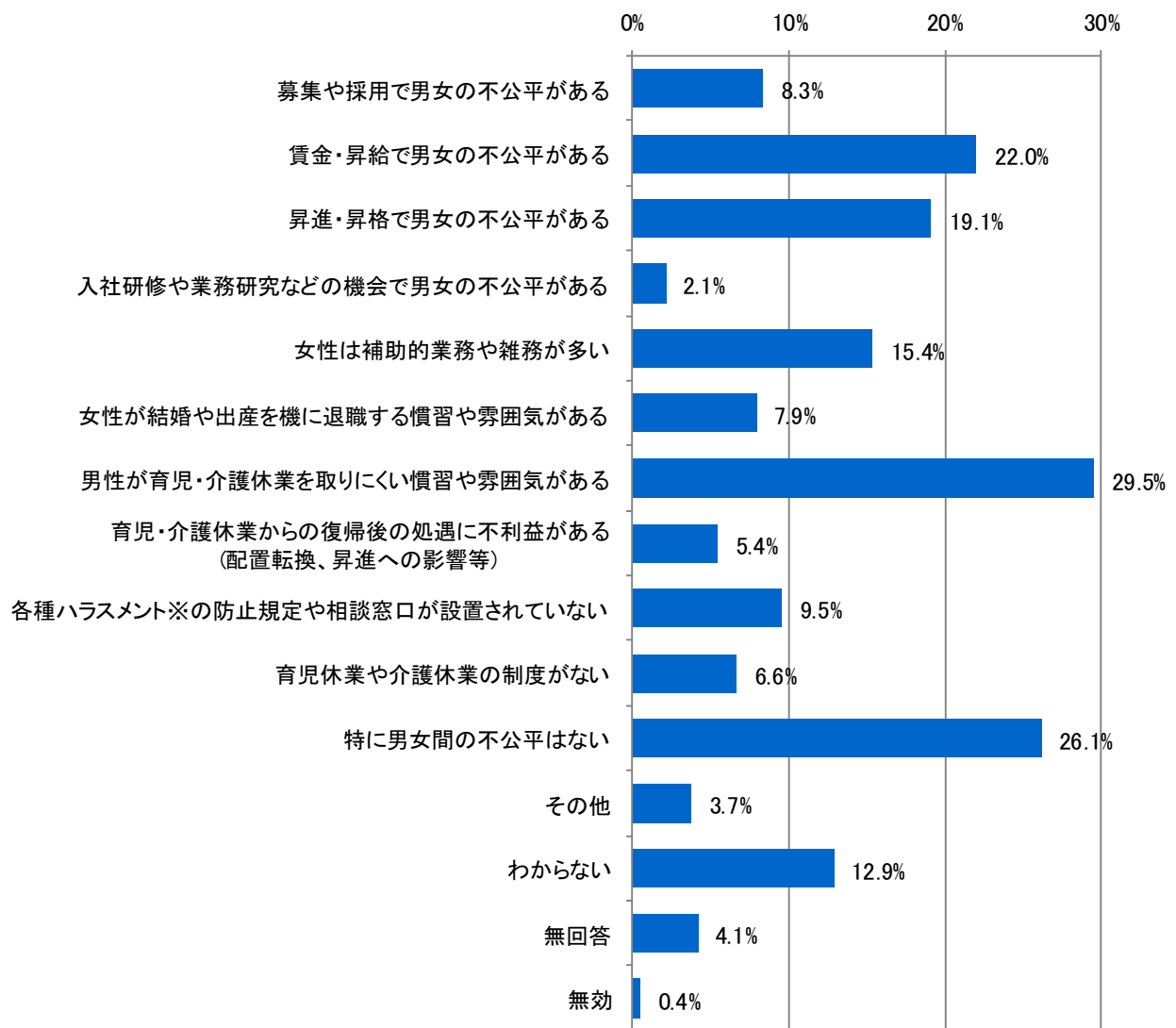
(全体数 N=391 回答者数 N=334 非該当者数 N=57)

項目	度数	構成比
育児や介護が必要になったことがない	143	42.8%
仕事が忙しく、休める状況ではなかった	54	16.2%
職場に休みにくい雰囲気があった(上司や同僚に相談しにくい)	54	16.2%
経済的な理由(休業補償がない、昇給に影響するなど)	36	10.8%
配偶者が休暇を取得した	18	5.4%
配偶者が育児や介護を行った	35	10.5%
昇進・昇格が遅れる	12	3.6%
元の職場に戻るかどうか不安	16	4.8%
休業中に仕事の能力が低下するのが不安	6	1.8%
育児や介護が必要だったときには、まだ制度がなかった	61	18.3%
休業の取得を理由に解雇される心配があった	5	1.5%
無回答	52	15.6%
無効	24	7.2%
回答者数	334	

問 10 現在働いている方にお伺いします

あなたの職場では、次のような男女間の不公平や、制度の未整備はありますか。
(〇はいくつでも)

「男性が育児・介護休業を取りにくい慣習や雰囲気がある」と回答した方が 29.5%と最も多く、続いて、「特に男女間の不公平はない」の 26.1%となっています。



(全体数 N=391 回答者数 N=241 非該当者数 N=150)

※ハラスメント：いやがらせ

(セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント等)

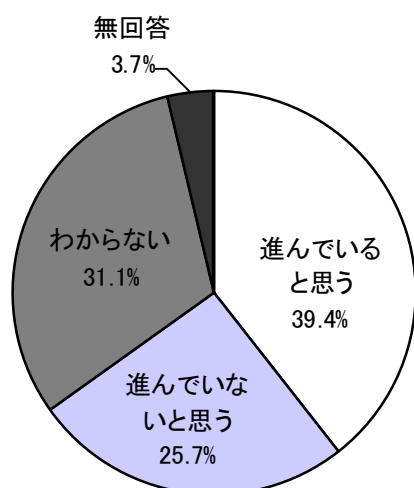
※回答者の属性「3 あなたの職業」で「1 正社員・正職員」、「2 パート・アルバイト・契約社員」、「3 派遣社員」、4「自営業・自由業・家業手伝い」のいずれかに回答した方を計上しています。

項目	度数	構成比
募集や採用で男女の不公平がある	20	8.3%
賃金・昇給で男女の不公平がある	53	22.0%
昇進・昇格で男女の不公平がある	46	19.1%
入社研修や業務研究などの機会に男女の不公平がある	5	2.1%
女性は補助的業務や雑務が多い	37	15.4%
女性が結婚や出産を機に退職する慣習や雰囲気がある	19	7.9%
男性が育児・介護休業を取りにくい慣習や雰囲気がある	71	29.5%
育児・介護休業からの復帰後の処遇に不利益がある (配置転換、昇進への影響等)	13	5.4%
各種ハラスメント※の防止規定や相談窓口が設置されていない	23	9.5%
育児休業や介護休業の制度がない	16	6.6%
特に男女間の不公平はない	63	26.1%
その他	9	3.7%
わからない	31	12.9%
無回答	10	4.1%
無効	1	0.4%
回答者数	241	

11 現在働いている方にお伺いします

あなたの職場では、女性の採用や管理職登用が進んでいると思いますか。(1つに○)

「進んでいる」と回答した方が 39.4%と最も多く、続いて、「わからない」の 31.1%、「進んでいない」の 25.7%となっています。



項目	度数	構成比
進んでいると思う	95	39.4%
進んでいないと思う	62	25.7%
わからない	75	31.1%
無回答	9	3.7%
無効	0	0.0%
回答者数	241	100.0%

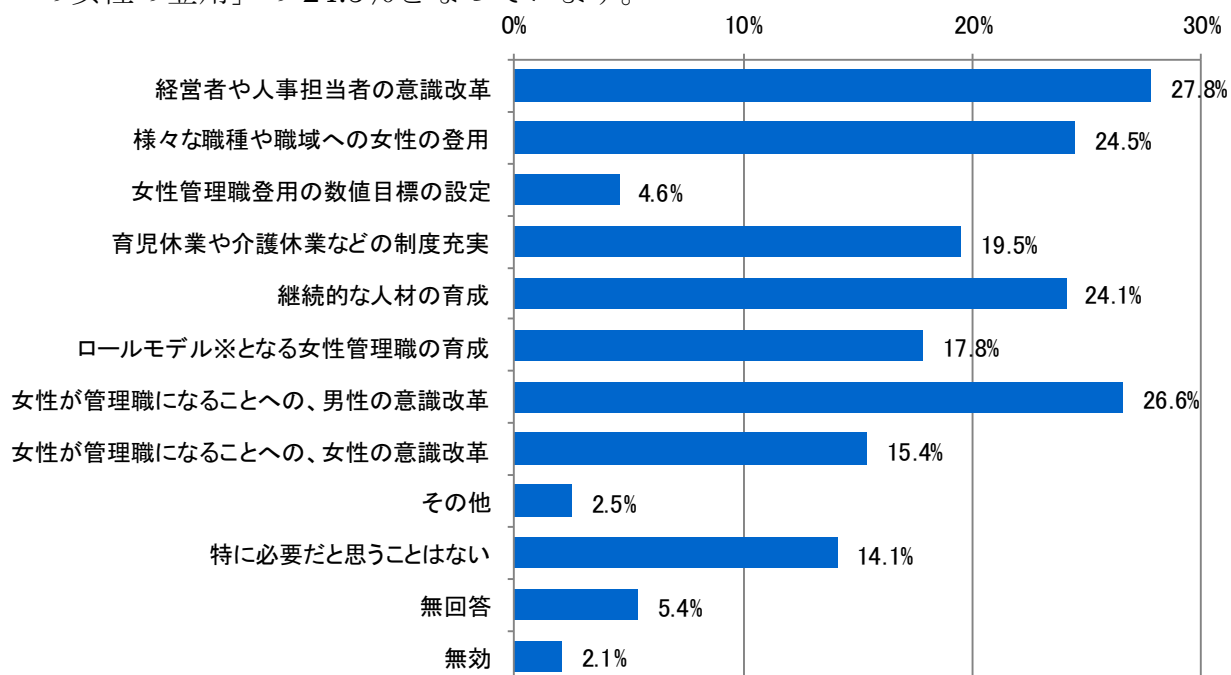
(全体数 N=391 回答者数 N=241 非該当者数 N=150)

※回答者の属性「3 あなたの職業」で「1 正社員・正職員」、「2 パート・アルバイト・契約社員」、「3 派遣社員」、4「自営業・自由業・家業手伝い」のいずれかに回答した方を計上しています。

問 12 現在働いている方にお伺いします

あなたの職場で、女性の管理職が登用されるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

「経営者や人事担当者の意識改革」と回答した方が 27.8%と最も多く、続いて、「女性が管理職になることへの、男性の意識改革」の 26.6%、「様々な職種や職域への女性の登用」の 24.5%となっています。



（全体数 N=391 回答者数 N=241 非該当者数 N=150）

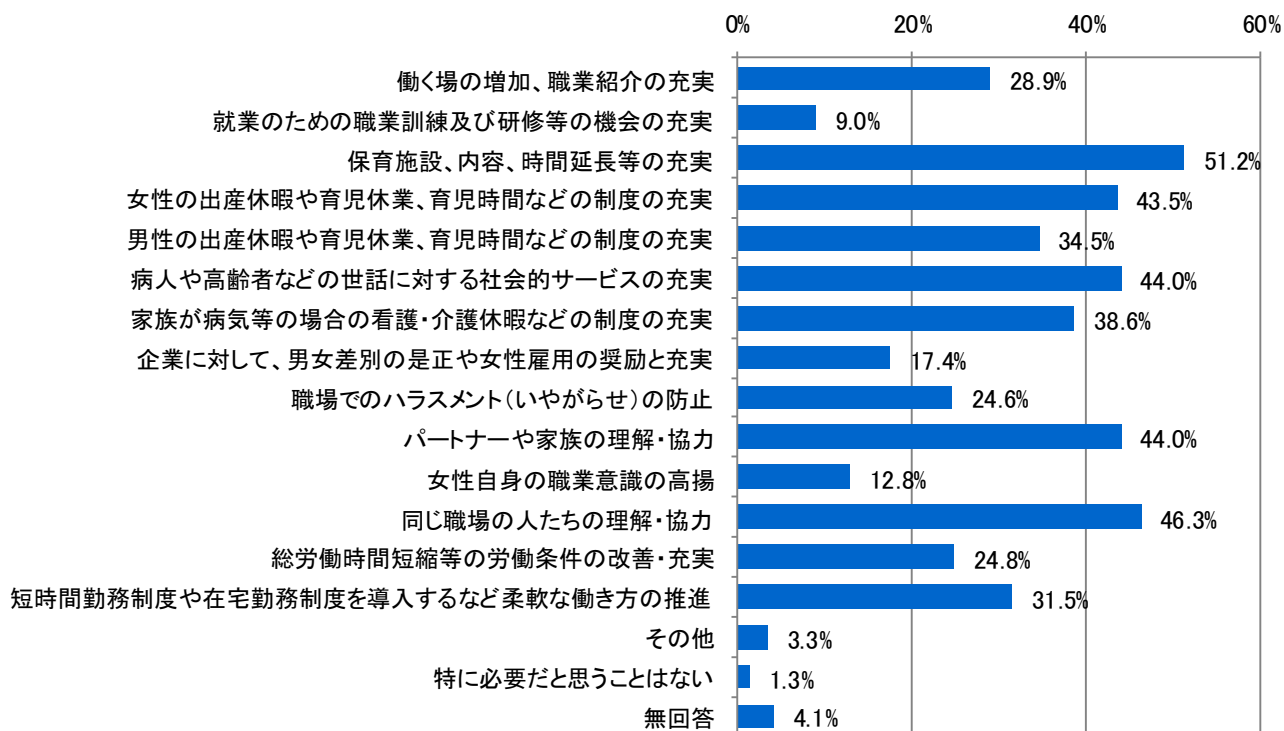
※ロールモデル：具体的な行動や考え方の模範となる人のこと

※回答者の属性「3 あなたの職業」で「1 正社員・正職員」、「2 パート・アルバイト・契約社員」、「3 派遣社員」、4「自営業・自由業・家業手伝い」のいずれかに回答した方を計上しています。

項目	度数	構成比
経営者や人事担当者の意識改革	67	27.8%
様々な職種や職域への女性の登用	59	24.5%
女性管理職登用の数値目標の設定	11	4.6%
育児休業や介護休業などの制度充実	47	19.5%
継続的な人材の育成	58	24.1%
ロールモデル※となる女性管理職の育成	43	17.8%
女性が管理職になることへの、男性の意識改革	64	26.6%
女性が管理職になることへの、女性の意識改革	37	15.4%
その他	6	2.5%
特に必要だと思うことはない	34	14.1%
無回答	13	5.4%
無効	5	2.1%
回答者数	241	

問 13 あなたは、男女がともに仕事も家庭も担っていくために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

「保育施設、内容、時間延長等の充実」と回答した方が 51.2%と最も多く、続いて「同じ職場の人たちの理解・協力」の 46.3%となっています。

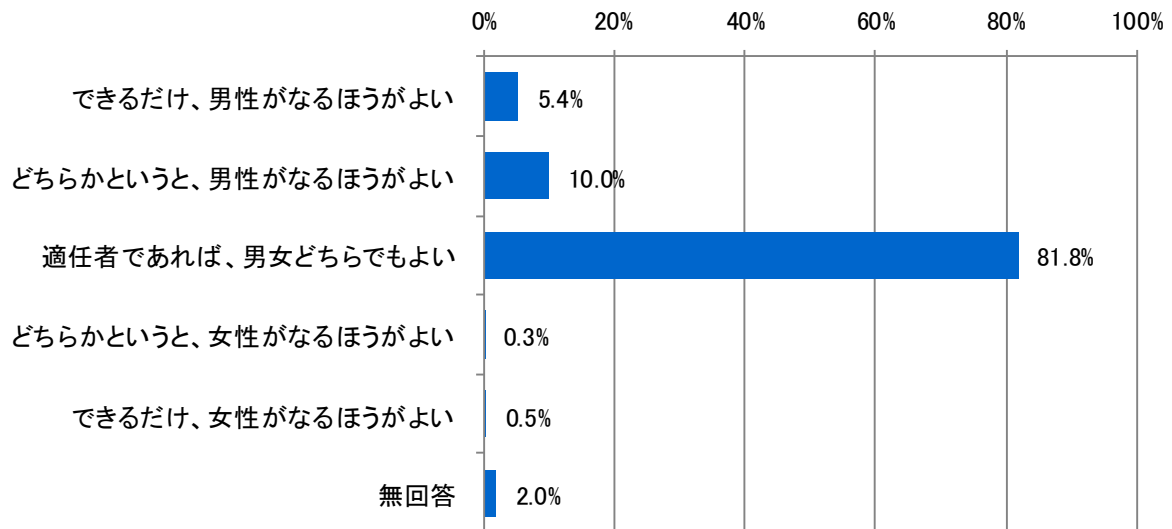


項目	度数	構成比
働く場の増加、職業紹介の充実	113	28.9%
就業のための職業訓練及び研修等の機会の充実	35	9.0%
保育施設、内容、時間延長等の充実	200	51.2%
女性の出産休暇や育児休業、育児時間などの制度の充実	170	43.5%
男性の出産休暇や育児休業、育児時間などの制度の充実	135	34.5%
病人や高齢者などの世話に対する社会的サービスの充実	172	44.0%
家族が病気等の場合の看護・介護休暇などの制度の充実	151	38.6%
企業に対して、男女差別の是正や女性雇用の奨励と充実	68	17.4%
職場でのハラスメント(いやがらせ)の防止	96	24.6%
パートナーや家族の理解・協力	172	44.0%
女性自身の職業意識の高揚	50	12.8%
同じ職場の人たちの理解・協力	181	46.3%
総労働時間短縮等の労働条件の改善・充実	97	24.8%
短時間勤務制度や在宅勤務制度を導入するなど柔軟な働き方の推進	123	31.5%
その他	13	3.3%
特に必要だと思うことはない	5	1.3%
無回答	16	4.1%
回答者数	391	

4 社会活動・地域活動について

問 14 あなたは、自治会長や町内会長、地域の防災組織のリーダーなど、地域活動にかかわる役職の性別についてどう思いますか。（1つに○）

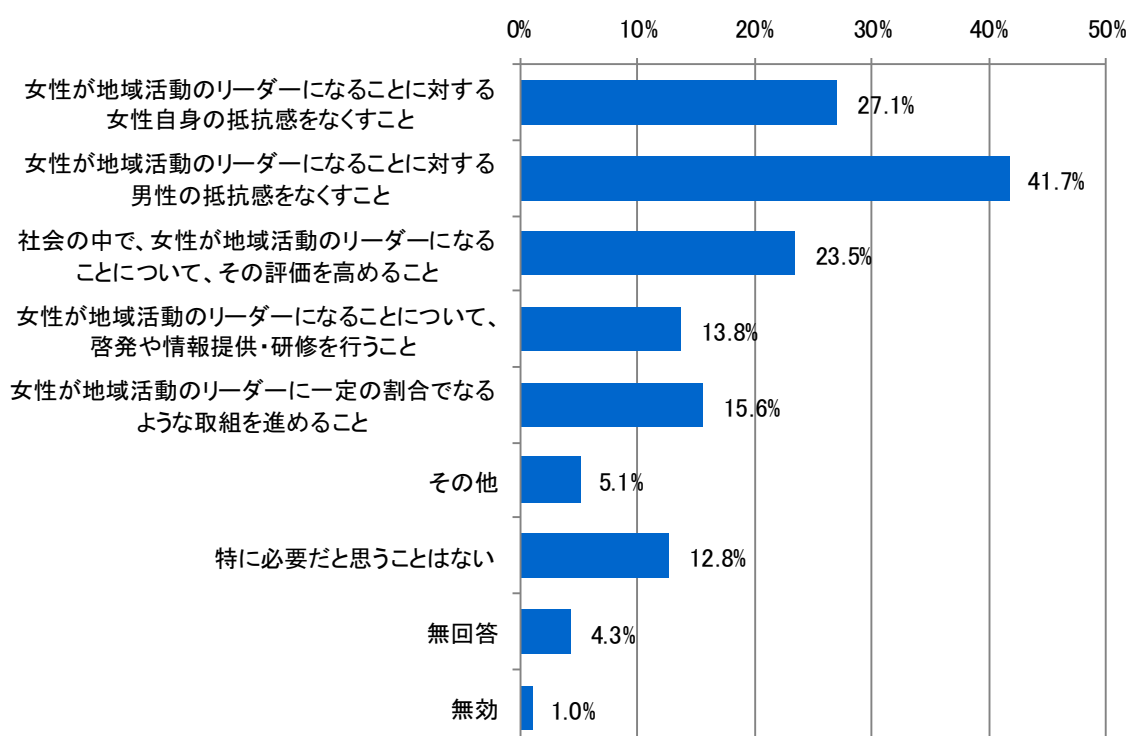
「適任者であれば、男女どちらでもよい」と回答した方がほとんどで、81.8%となっています。



項目	度数	構成比
できるだけ、男性になるほうがよい	21	5.4%
どちらかという、男性になるほうがよい	39	10.0%
適任者であれば、男女どちらでもよい	320	81.8%
どちらかという、女性になるほうがよい	1	0.3%
できるだけ、女性になるほうがよい	2	0.5%
無回答	8	2.0%
回答者数	391	100.0%

問 15 あなたは、自治会長や町内会長、地域の防災組織のリーダーなど、女性が地域活動のリーダーとなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は2つまで)

「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」と回答した方が 41.7%と最も多く、「女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」が次に多く、27.1%となっています。



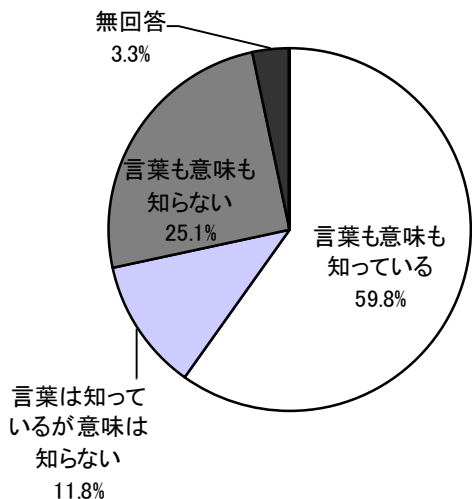
項目	度数	構成比
女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと	106	27.1%
女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと	163	41.7%
社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること	92	23.5%
女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと	54	13.8%
女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること	61	15.6%
その他	20	5.1%
特に必要だと思わない	50	12.8%
無回答	17	4.3%
無効	4	1.0%
回答者数	391	

5 多様性の尊重と人権について

5-1 「LGBT」について伺います

問 16 あなたは、「LGBT」という言葉を知っていますか。(1つに○)

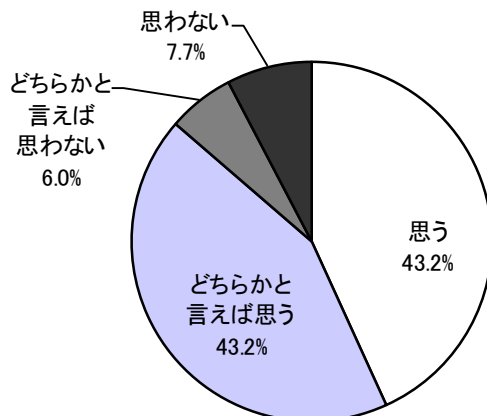
「言葉も意味も知っている」と回答した方が最も多く、59.8%となっています。一方、「言葉も意味も知らない」と回答した方は25.1%となっています。



項目	度数	構成比
言葉も意味も知っている	234	59.8%
言葉は知っているが意味は知らない	46	11.8%
言葉も意味も知らない	98	25.1%
無回答	13	3.3%
無効	0	0.0%
回答者数	391	100.0%

問 17 問 16 で「1 言葉も意味も知っている」と答えた方にお伺いします あなたは、現在、LGBTなどの性的少数者の人々にとって、生活しづらい社会だと思いますか。(1つに○)

「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した方が多く、それぞれ43.2%、43.2%となっています。

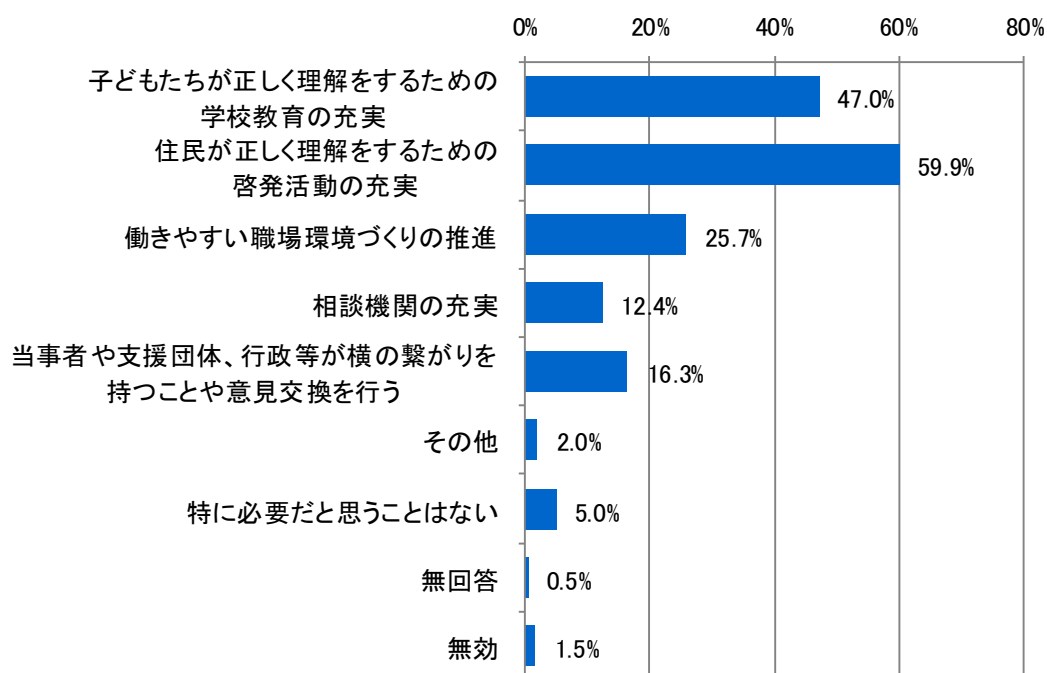


項目	度数	構成比
思う	101	43.2%
どちらかといえば思う	101	43.2%
どちらかといえば思わない	14	6.0%
思わない	18	7.7%
回答者数	234	100.0%

(全体数 N=391 回答者数 N=234 非該当者数 N=157)

問18 問17で「1 思う」、「2 どちらかと言えば思う」と答えた方にお伺いします
あなたは、LGBTなどの性的少数者の人々が生活しやすくなるためにどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

「住民が正しく理解をするための啓発活動の充実」と回答した方が最も多く、59.9%となっています。続いて、「子どもたちが正しく理解をするための学校教育の充実」の47.0%、「働きやすい職場環境づくりの推進」の25.7%となっています。



(全体数 N=391 回答者数 N=202 非該当者数 N=189)

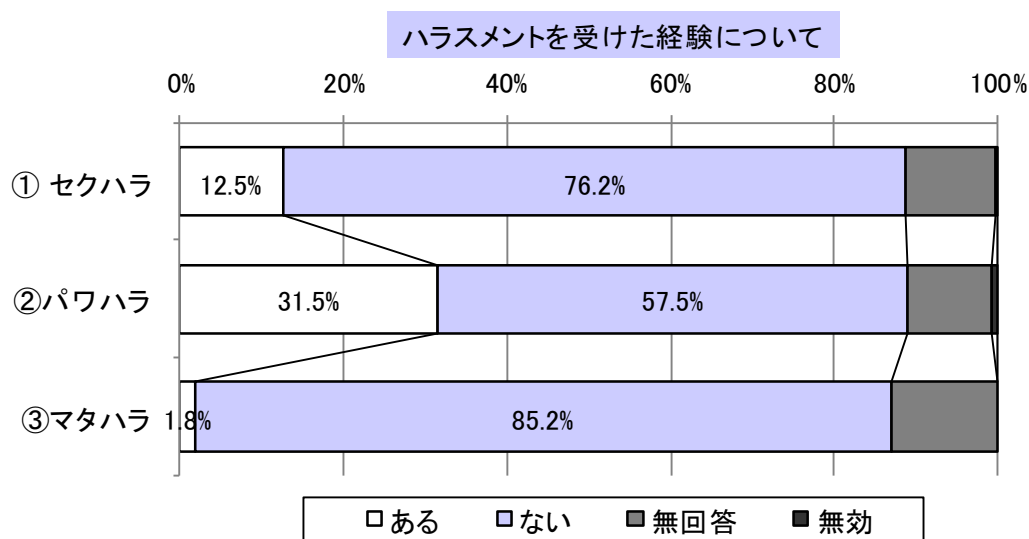
項目	度数	構成比
子どもたちが正しく理解をするための学校教育の充実	95	47.0%
住民が正しく理解をするための啓発活動の充実	121	59.9%
働きやすい職場環境づくりの推進	52	25.7%
相談機関の充実	25	12.4%
当事者や支援団体、行政等が横の繋がりを持つことや意見交換を行う	33	16.3%
その他	4	2.0%
特に必要だと思うことはない	10	5.0%
無回答	1	0.5%
無効	3	1.5%
回答者数	202	

5-2 ハラスメントについて伺います

問 19 あなたは、次のようなハラスメントを経験したり、身近で見たり聞いたりしたことがありますか。(①～③の各項目について、それぞれあてはまるものに○)

ハラスメントを受けた経験について、「ある」と回答した方が一番多かった項目は「パワー・ハラスメント」の31.5%となっています。

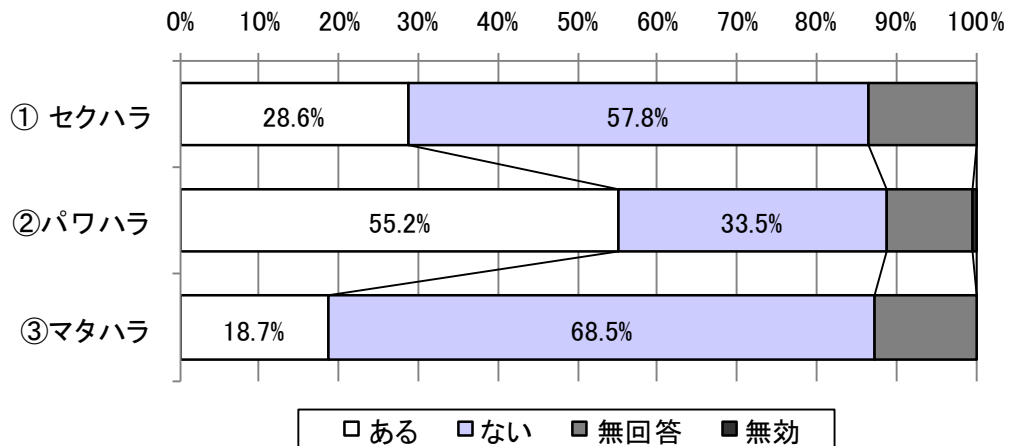
また、ハラスメントを身近で見たり聞いたりしたことが「ある」と回答した方が一番多かった項目も「パワー・ハラスメント」で55.2%となっています。



■ 受けた経験について

項目	度数			構成比		
	① セクハラ	② パワハラ	③ マタハラ	① セクハラ	② パワハラ	③ マタハラ
ある	49	123	7	12.5%	31.5%	1.8%
ない	298	225	333	76.2%	57.5%	85.2%
無回答	43	40	51	11.0%	10.2%	13.0%
無効	1	3	0	0.3%	0.8%	0.0%
回答者数	391	391	391	100.0%	100.0%	100.0%

ハラスメントを身近で見たり聞いたりしたことについて

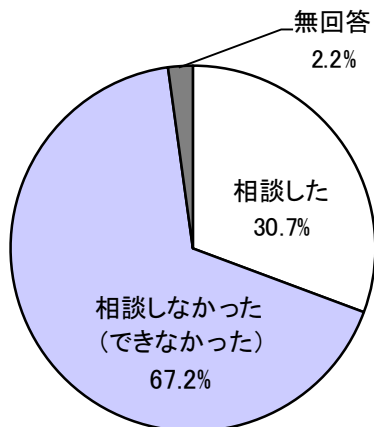


■ 身近で見たり聞いたりしたことについて

項目	度数			構成比		
	① セクハラ	② パワハラ	③ マタハラ	① セクハラ	② パワハラ	③ マタハラ
ある	112	216	73	28.6%	55.2%	18.7%
ない	226	131	268	57.8%	33.5%	68.5%
無回答	53	42	50	13.6%	10.7%	12.8%
無効	0	2	0	0.0%	0.5%	0.0%
回答者数	391	391	391	100.0%	100.0%	100.0%

問 20 問 19 の①～③のいずれかで、受けた経験について「ある」と答えた方にお伺いします
ハラスメントについて、どこ（誰）かに相談しましたか。（1つに○）

「相談しなかった（できなかった）」と回答した方が 67.2%と最も多く、過半数を超えています。

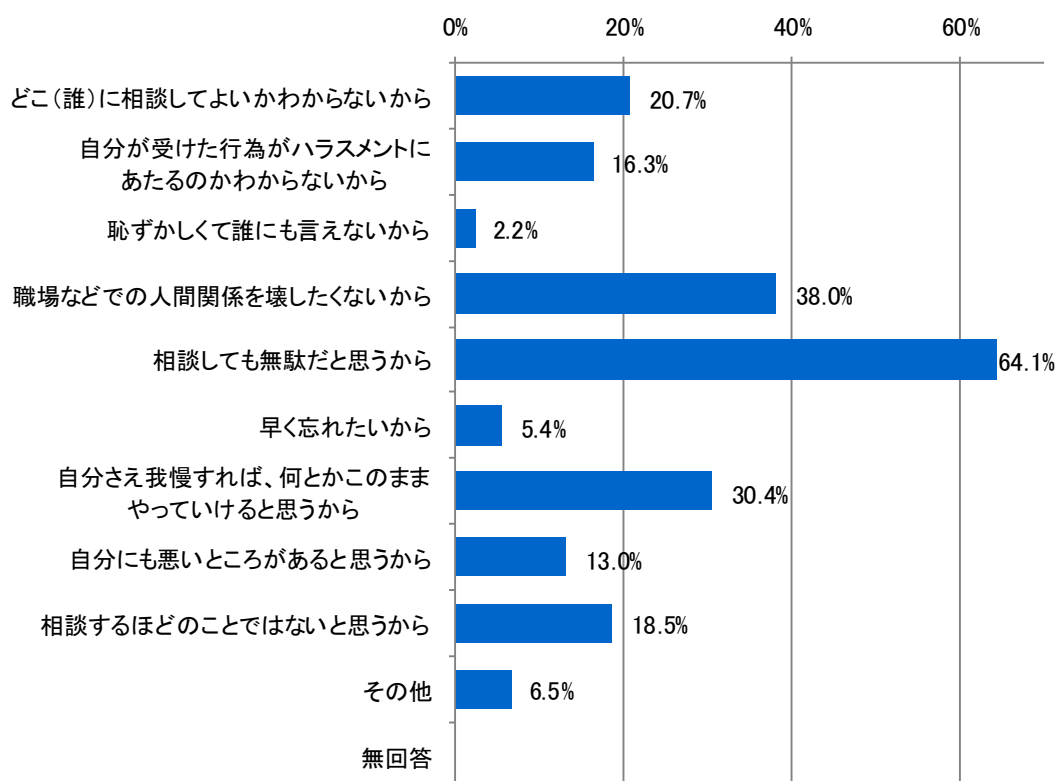


項目	度数	構成比
相談した	42	30.7%
相談しなかった (できなかった)	92	67.2%
無回答	3	2.2%
回答者数	137	100.0%

(全体数 N=391 回答者数 N=137 非該当者数 N=254)

問 21 問 20 で「2 相談しなかった（できなかった）」と答えた方にお伺いします
ハラスメントについて、相談しなかった理由は何ですか。（〇はいくつでも）

「相談しても無駄だと思うから」と回答した方が 64.1%と最も多く、続いて、「職場などでの人間関係を壊したくないから」の 38.0%となっています。



(全体数 N=391 回答者数 N=92 非該当者数 N=299)

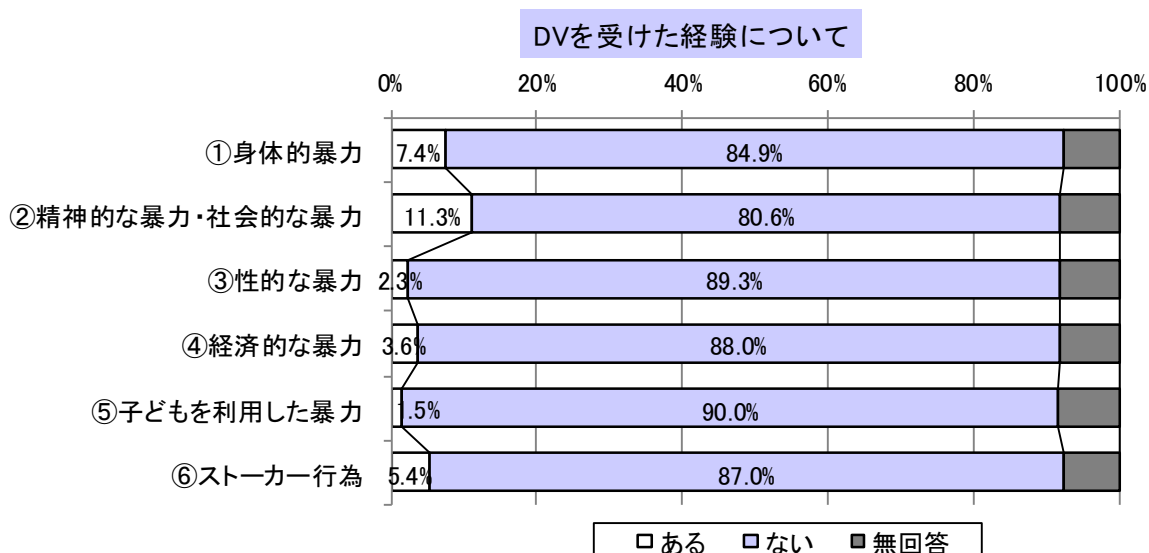
項目	度数	構成比
どこ(誰)に相談してよいかわからないから	19	20.7%
自分が受けた行為がハラスメントにあたるのかわからないから	15	16.3%
恥ずかしくて誰にも言えないから	2	2.2%
職場などでの人間関係を壊したくないから	35	38.0%
相談しても無駄だと思うから	59	64.1%
早く忘れたいから	5	5.4%
自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思うから	28	30.4%
自分にも悪いところがあると思うから	12	13.0%
相談するほどのことではないと思うから	17	18.5%
その他	6	6.5%
無回答	1	
回答者数	92	

5-3 ドメスティック・バイオレンス（DV）について伺います

問 22 あなたは、配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者からふるわれる暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））を受けた経験や、見たり聞いたりしたことがありますか。（①～⑥の各項目について、それぞれあてはまるものに○）

ドメスティック・バイオレンスを受けた経験について、「ある」と回答した方が一番多かった項目は「精神的な暴力・社会的な暴力」の 11.3%となっています。次に多かった項目は、「身体的暴力」7.4%、ストーカー行為 5.4%となっています。

また、ドメスティック・バイオレンスを身近で見たり聞いたりしたことが「ある」と回答した方が一番多かった項目は「身体的暴力」の 24.3%となっています。次に多かった項目は、「精神的な暴力・社会的な暴力」の 21.0%となっています。

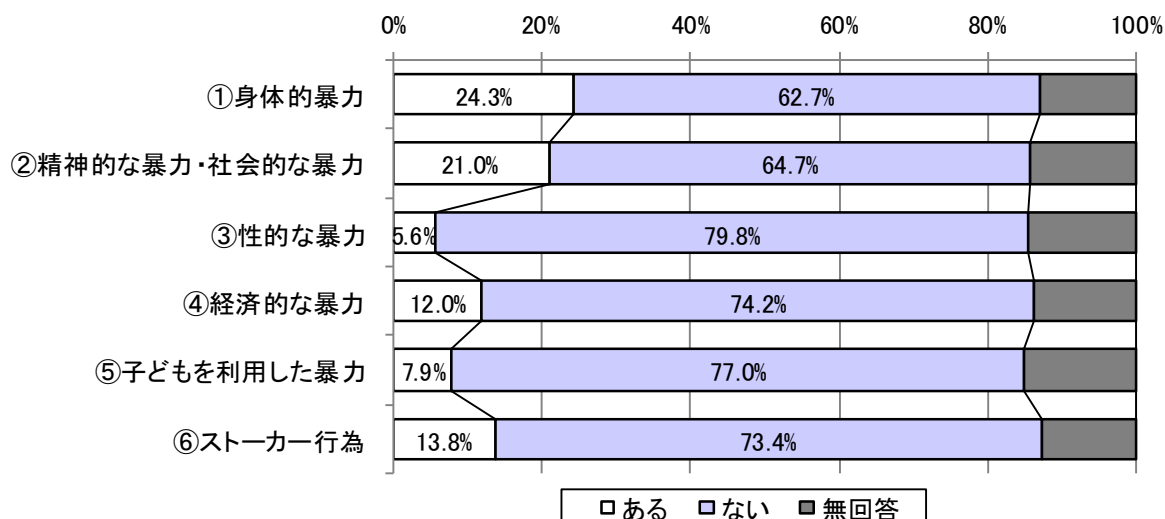


■ 受けた経験について

項目	度数					
	①身体的暴力	②精神的な暴力・社会的な暴力	③性的な暴力	④経済的な暴力	⑤子どもを利用した暴力	⑥ストーカー行為
ある	29	44	9	14	6	21
ない	332	315	349	344	352	340
無回答	30	32	32	32	33	30
無効	0	0	1	1	0	0
回答者数	391	391	391	391	391	391

項目	構成比					
	①身体的暴力	②精神的な暴力・社会的な暴力	③性的な暴力	④経済的な暴力	⑤子どもを利用した暴力	⑥ストーカー行為
ある	7.4%	11.3%	2.3%	3.6%	1.5%	5.4%
ない	84.9%	80.6%	89.3%	88.0%	90.0%	87.0%
無回答	7.7%	8.2%	8.2%	8.2%	8.4%	7.7%
無効	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

DVを身近で見たり聞いたりしたことについて



■身近で見たり聞いたりしたことについて

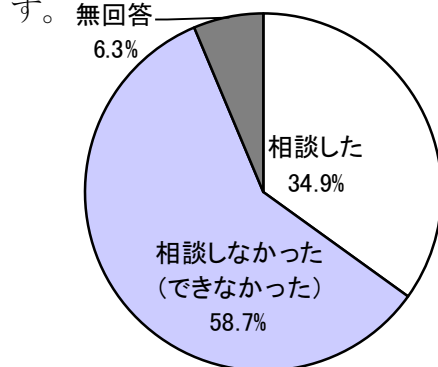
項目	度数					
	①身体的暴力	②精神的な暴力・社会的な暴力	③性的な暴力	④経済的な暴力	⑤子どもを利用した暴力	⑥ストーカー行為
ある	95	82	22	47	31	54
ない	245	253	312	290	301	287
無回答	51	56	57	54	59	50
無効	0	0	0	0	0	0
回答者数	391	391	391	391	391	391

項目	構成比					
	①身体的暴力	②精神的な暴力・社会的な暴力	③性的な暴力	④経済的な暴力	⑤子どもを利用した暴力	⑥ストーカー行為
ある	24.3%	21.0%	5.6%	12.0%	7.9%	13.8%
ない	62.7%	64.7%	79.8%	74.2%	77.0%	73.4%
無回答	13.0%	14.3%	14.6%	13.8%	15.1%	12.8%
無効	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問 23 問 22 の①～⑥のいずれかで、受けた経験について「ある」と答えた方にお伺いします

配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））について、どこ（誰）かに相談しましたか。（1つに○）

「相談しなかった（できなかった）」と回答した方が 58.7%と最も多くなっています。

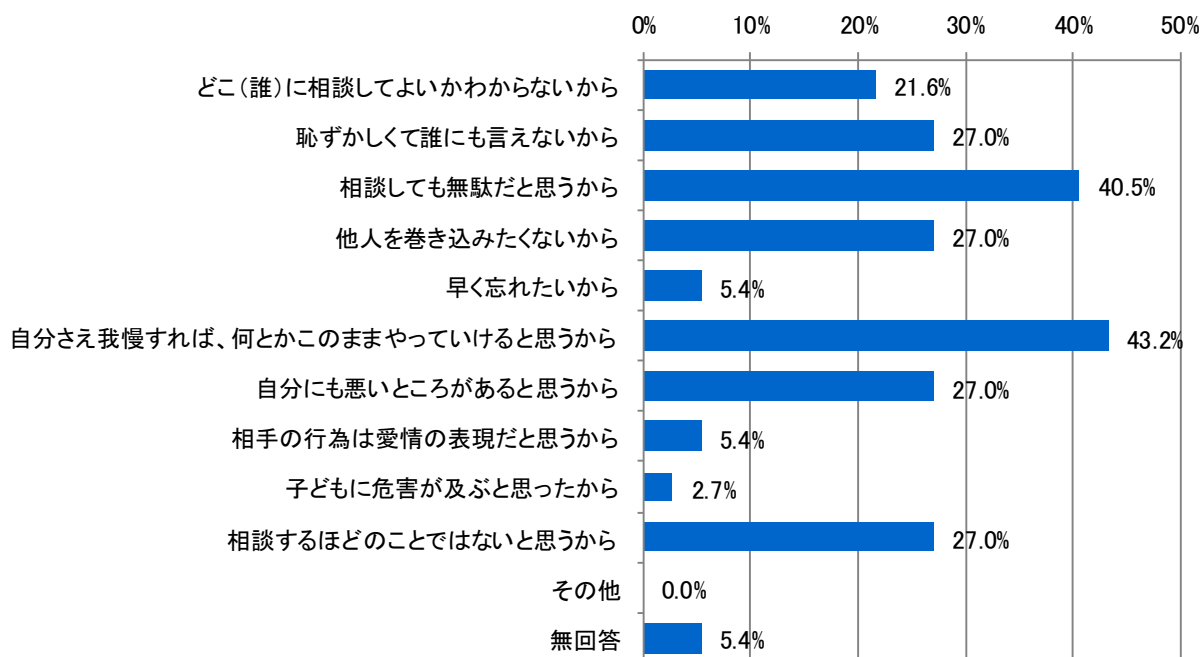


項目	度数	構成比
相談した	22	34.9%
相談しなかった（できなかった）	37	58.7%
無回答	4	6.3%
回答者数	63	100.0%

（全体数 N=391 回答者数 N=63 非該当者数 N=328）

問 24 問 23 で「2 相談しなかった（できなかった）」と答えた方にお伺いします
配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））について、相談しない・
しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思うから」、「相談しても無駄だ
と思うから」と回答した方が多く、それぞれ 43.2%、40.5%となっています。



（全体数 N=391 回答者数 N=37 非該当者数 N=354）

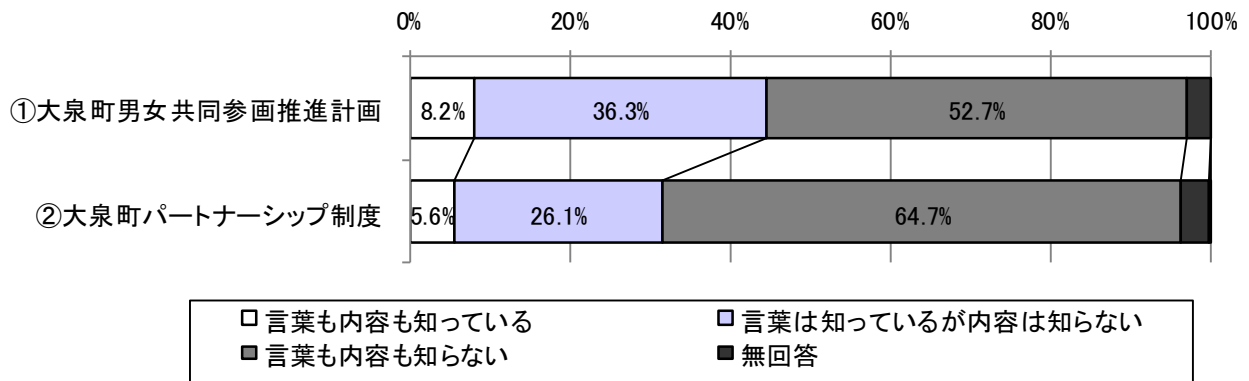
項目	度数	構成比
どこ(誰)に相談してよいかわからないから	8	21.6%
恥ずかしくて誰にも言えないから	10	27.0%
相談しても無駄だと思うから	15	40.5%
他人を巻き込みたくないから	10	27.0%
早く忘れたいから	2	5.4%
自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思うから	16	43.2%
自分にも悪いところがあると思うから	10	27.0%
相手の行為は愛情の表現だと思うから	2	5.4%
子どもに危害が及ぶと思ったから	1	2.7%
相談するほどのことではないと思うから	10	27.0%
その他	0	0.0%
無回答	2	5.4%
回答者数	37	

6 男女共同参画社会について

問 25 あなたは、次にあげる計画・制度について知っていますか。

(①、②の各項目について、1つに○)

「①大泉町男女共同参画推進計画」、「②大泉町パートナーシップ制度」両項目とも「言葉も内容も知らない」と回答した方が多く、それぞれ、52.7%、64.7%となっています。

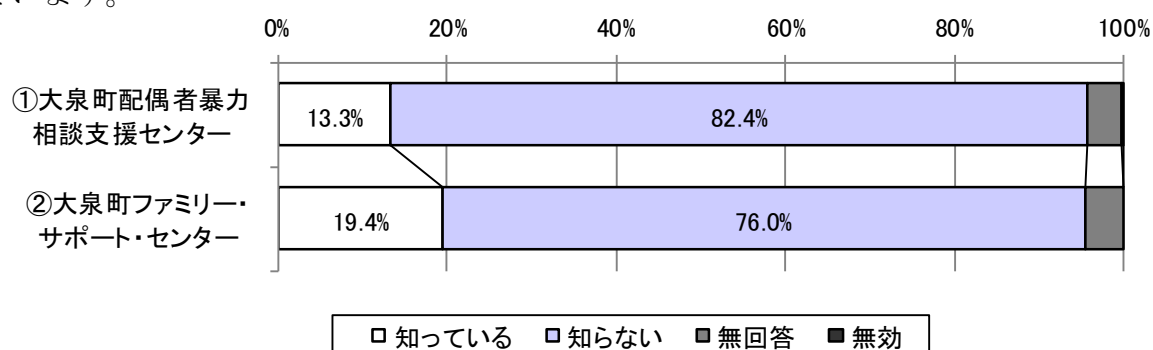


項目	度数		構成比	
	①大泉町男女共同参画推進計画	②大泉町パートナーシップ制度	①大泉町男女共同参画推進計画	②大泉町パートナーシップ制度
言葉も内容も知っている	32	22	8.2%	5.6%
言葉は知っているが内容は知らない	142	102	36.3%	26.1%
言葉も内容も知らない	206	253	52.7%	64.7%
無回答	11	13	2.8%	3.3%
無効	0	1	0.0%	0.3%
回答者数	391	391	100.0%	100.0%

問 26 あなたは、次にあげる町関連施設について知っていますか。

(①、②の各項目について、1つに○)

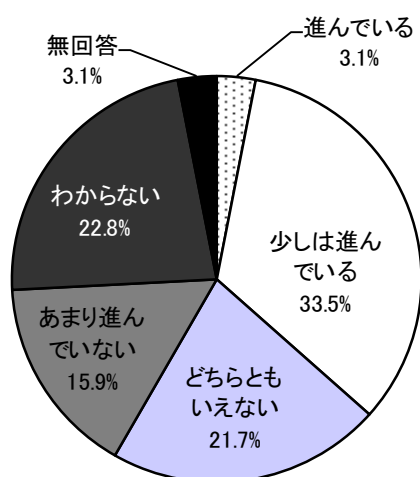
「①大泉町配偶者暴力相談支援センター」、「②大泉町ファミリー・サポート・センター」両項目とも「知らない」と回答した方が多く、それぞれ、82.4%、76.0%となっています。



項目	度数		構成比	
	①大泉町配偶者暴力相談支援センター	②大泉町ファミリー・サポート・センター	①大泉町配偶者暴力相談支援センター	②大泉町ファミリー・サポート・センター
知っている	52	76	13.3%	19.4%
知らない	322	297	82.4%	76.0%
無回答	16	18	4.1%	4.6%
無効	1	0	0.3%	0.0%
回答者数	391	391	100.0%	100.0%

問 27 あなたは、社会全体では男女共同参画が進んでいると感じますか。(1つに○)

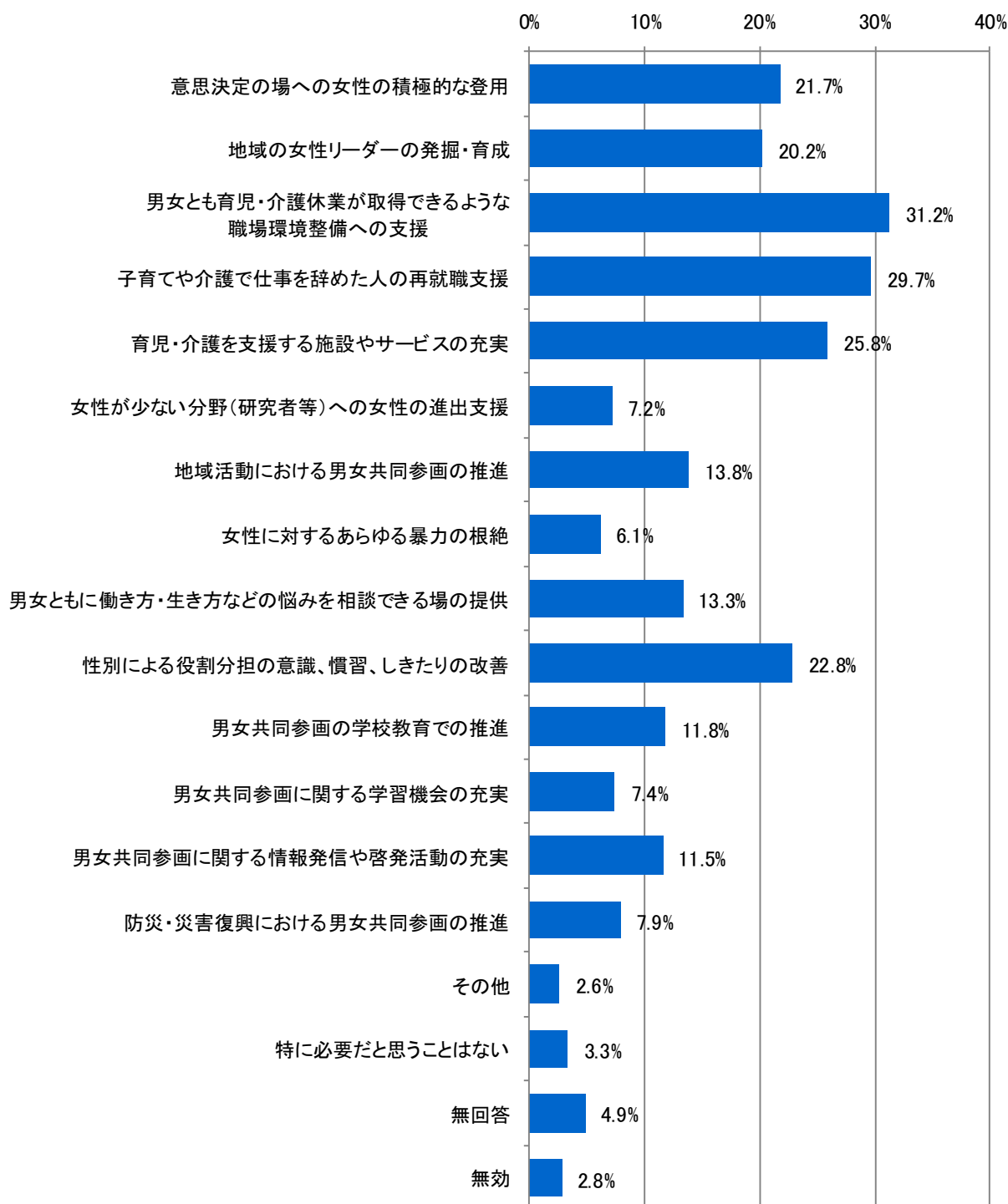
「少しは進んでいる」と回答した方が 33.5%と最も多く、続いて、「わからない」の 22.8%、「どちらともいえない」の 21.7%となっています。



項目	度数	構成比
進んでいる	12	3.1%
少しは進んでいる	131	33.5%
どちらともいえない	85	21.7%
あまり進んでいない	62	15.9%
わからない	89	22.8%
無回答	12	3.1%
無効	0	0.0%
回答者数	391	100.0%

問 28 今後、大泉町で男女共同参画を推進するために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「男女とも育児・介護休業が取得できるような職場環境整備への支援」と回答した方が 31.2%と最も多く、続いて、「子育てや介護で仕事を辞めた人の再就職支援」の 29.7%、「育児・介護を支援する施設やサービスの充実」の 25.8%となっています。



項目	度数	構成比
意思決定の場への女性の積極的な登用	85	21.7%
地域の女性リーダーの発掘・育成	79	20.2%
男女とも育児・介護休業が取得できるような職場環境整備への支援	122	31.2%
子育てや介護で仕事を辞めた人の再就職支援	116	29.7%
育児・介護を支援する施設やサービスの充実	101	25.8%
女性が少ない分野(研究者等)への女性の進出支援	28	7.2%
地域活動における男女共同参画の推進	54	13.8%
女性に対するあらゆる暴力の根絶	24	6.1%
男女ともに働き方・生き方などの悩みを相談できる場の提供	52	13.3%
性別による役割分担の意識、慣習、しきたりの改善	89	22.8%
男女共同参画の学校教育での推進	46	11.8%
男女共同参画に関する学習機会の充実	29	7.4%
男女共同参画に関する情報発信や啓発活動の充実	45	11.5%
防災・災害復興における男女共同参画の推進	31	7.9%
その他	10	2.6%
特に必要だと思うことはない	13	3.3%
無回答	19	4.9%
無効	11	2.8%
回答者数	391	

調査票



男女共同参画社会に関するアンケート

調査の目的

現在の皆様のお考えや状況をお伺いし、令和2年度に「第四次大泉町男女共同参画推進計画」を策定するにあたり、基礎資料とします。

※本町では、誰もがお互いの人権を尊重しつつ責任を分かちあい、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現を目指して、現在、第三次大泉町男女共同参画推進計画（計画期間：平成28～令和2年度）に基づき、さまざまな取組を進めています。

調査対象者

18歳以上の町民から無作為抽出した1,200人

回答期限

ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、3月6日(金)までに郵便ポストにご投函ください。無記名で結構です。

記入方法

- ・ 回答は、封筒の宛名のご本人がお答えください。
ご本人がご記入することが難しい場合は、身近な方がご本人の意見を聞きながらご記入ください。
- ・ 答えは、質問ごとに用意してある答えの中から、あてはまる番号を○で囲んでください。また、記述を必要とする箇所は、ご記入ください。
- ・ 感じたままを率直にお答えください。

※ お答えは、すべて無記名で統計的に処理し、個人が特定されることはございません。

《お問い合わせ先》

〒370-0595 大泉町日の出55番1号
大泉町 企画部 多文化協働課
電話 0276-63-3111 (内線262)

あなたご自身のことについてお伺いします

1 あなたの性別（1つに○）

- 1 男性 2 女性 3 その他（または答えたくない）

2 あなたの年齢（1つに○）

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

3 あなたの職業（1つに○）

- 1 正社員・正職員 2 パート・アルバイト・契約社員
3 派遣社員 4 自営業・自由業・家業手伝い
5 専業主婦・主夫 6 学生
7 無職 8 その他（ ）

4 配偶者（事実婚を含む）・パートナーの有無（1つに○）

- 1 いる 2 いない

5 4で「1 いる」と答えた方にお伺いします

配偶者（事実婚を含む）・パートナーの職業はどれですか。（1つに○）

- 1 正社員・正職員 2 パート・アルバイト・契約社員
3 派遣社員 4 自営業・自由業・家業手伝い
5 専業主婦・主夫 6 学生
7 無職 8 その他（ ）

6 お子さんの有無（1つに○）

- 1 いる 2 いない

7 家族構成について（1つに○）

- 1 一人暮らし
2 配偶者（事実婚を含む）・パートナーと二人
3 親と子 【2世代世帯】
4 親と子と孫【3世代世帯】
5 その他（ ）

1 男女平等に関する意識について

問1 あなたは、次のような分野で男女は平等になっていると思いますか。
(①～⑧の各項目について、1つに○)

	男性の方が優遇 されている	どちらかといえば 男性の方が優遇 されている	平等になっている	どちらかといえば 女性の方が優遇 されている	女性の方が優遇 されている	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
④ 町内会や自治会等の 地域活動	1	2	3	4	5	6
⑤ 社会通念・慣習・ しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑥ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑦ 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体	1	2	3	4	5	6

2 結婚や家庭生活について

問2 あなたは、結婚や家庭生活に関する次の考え方について、どう思いますか。
(①～⑦の各項目について、1つに○)

	そう思う	ややそう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	い そう思わな い	わからない
① 結婚する、しないはそれぞれ個人の自由 だと思う	1	2	3	4	5	6
② 結婚しても、子どもをもつことにこだわら なくてもよい	1	2	3	4	5	6
③ 結婚しても、うまくいかなければ離婚して もかまわない	1	2	3	4	5	6
④ 事実婚(入籍を伴わない結婚)という結婚 の形態があってもよいと思う	1	2	3	4	5	6
⑤ 同性同士の結婚があってもよいと思う	1	2	3	4	5	6
⑥ 希望する場合は夫婦が別姓でもよいと 思う	1	2	3	4	5	6
⑦ 男は外で働き、女は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5	6

問3 配偶者（事実婚を含む）・パートナーのいる方にお伺いします
あなたの家庭では、次の役割は誰が分担していますか。
（①～⑨の各項目について、1つに○）

	主に男性	主に女性	男性と女性 で共同して	その他
①収入・生活費の確保	1	2	3	4
②日常の家計管理	1	2	3	4
③家庭における重要な意思決定	1	2	3	4
④掃除	1	2	3	4
⑤洗濯	1	2	3	4
⑥食事の準備・後片付け	1	2	3	4
⑦育児・しつけ・教育	1	2	3	4
⑧親や病人の介護	1	2	3	4
⑨近所や地域の活動・PTA活動など	1	2	3	4

問4 配偶者（事実婚を含む）・パートナーのいる方にお伺いします
あなたは、家庭生活における今の役割分担についてどう思いますか。（1つに○）

1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満

問5 あなたは、今後、男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- 2 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
- 3 夫婦・パートナーや家族間でのコミュニケーションをよくはかること
- 4 周囲の人が、夫婦やパートナー間での役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
- 5 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること
- 6 労働時間短縮や休暇制度の普及により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- 7 家事、子育て、介護、地域活動への関心が高まるよう啓発や情報提供を行うこと
- 8 研修や講座の開催により、男性が家事、子育て、介護等の技能を高められる機会をつくること
- 9 子育てや介護を行うための、仲間（ネットワーク）づくりをすすめること
- 10 家庭と仕事の両立などの問題について、相談しやすい窓口を設けること
- 11 その他（ ）
- 12 特に必要だと思うことはない

3 働き方に関すること

問6 日常生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、あなたの実際の生活と理想の生活に最も近いものはどれですか。（①、②の各項目について、1つに○）

	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をいづれも優先	わからない	
① 実際の生活	1	2	3	4	5	6	7	8
② 理想の生活	1	2	3	4	5	6	7	8

問7 あなたは、男女が職業を持つことについて、どう思いますか。
次の中から男女別に1つずつ選んで（ ）内に番号を記入してください。

男性が職業を持つことについて（ ）
女性が職業を持つことについて（ ）

- 1 結婚や出産、育児にかかわらず職業を持ち続けた方がよい
- 2 結婚するまでは職業を持つ方がよい
- 3 子どもができるまでは職業を持つ方がよい
- 4 子どもができたら職業をやめ、手が離れたら再び持つ方がよい
- 5 職業を持たない方がよい
- 6 その他（ ）

問8 あなたは、次にあげる制度をご存じですか。また利用したことがありますか。
（①、②の各項目について、1つに○）

	利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない
①「育児休業」 （働く男女が原則として1歳未満の子どもを養育するために休業できる制度）	1	2	3
②「介護休業」 （働く男女が家族を介護するために休業できる制度）	1	2	3

問9 問8で「2 知っているが、利用したことはない」と答えた方にお伺いします
あなたが、これらの制度を利用しなかった理由として、当てはまるものはどれですか。
(〇はいくつでも)

- 1 育児や介護が必要になったことがない
- 2 仕事が忙しく、休める状況ではなかった
- 3 職場に休みにくい雰囲気があった（上司や同僚に相談しにくい）
- 4 経済的な理由（休業補償がない、昇給に影響するなど）
- 5 配偶者が休暇を取得した
- 6 配偶者が育児や介護を行った
- 7 昇進・昇格が遅れる
- 8 元の職場に戻るかどうか不安
- 9 休業中に仕事の能力が低下するのが不安
- 10 育児や介護が必要だったときには、まだ制度がなかった
- 11 休業の取得を理由に解雇される心配があった

問10 現在働いている方にお伺いします
あなたの職場では、次のような男女間の不公平や、制度の未整備はありますか。
(〇はいくつでも)

- 1 募集や採用で男女の不公平がある
- 2 賃金・昇給で男女の不公平がある
- 3 昇進・昇格で男女の不公平がある
- 4 入社研修や業務研究などの機会に男女の不公平がある
- 5 女性は補助的業務や雑務が多い
- 6 女性が結婚や出産を機に退職する慣習や雰囲気がある
- 7 男性が育児・介護休業を取りにくい慣習や雰囲気がある
- 8 育児・介護休業からの復帰後の処遇に不利益がある（配置転換、昇進への影響等）
- 9 各種ハラスメント※（セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント等）の防止規定や相談窓口が設置されていない
- 10 育児休業や介護休業の制度がない
- 11 特に男女間の不公平はない
- 12 その他（ ）
- 13 わからない

※ ハラスメント：いやがらせ



性別に関係なく、誰もが、
その能力や個性を発揮できるように！

問 11 現在働いている方にお伺いします

あなたの職場では、女性の採用や管理職登用が進んでいると思いますか。（1つに○）

- 1 進んでいると思う
- 2 進んでいないと思う
- 3 わからない

問 12 現在働いている方にお伺いします

あなたの職場で、女性の管理職が登用されるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 経営者や人事担当者の意識改革
- 2 様々な職種や職域への女性の登用
- 3 女性管理職登用の数値目標の設定
- 4 育児休業や介護休業などの制度充実
- 5 継続的な人材の育成
- 6 ロールモデル※となる女性管理職の育成
- 7 女性が管理職になることへの、男性の意識改革
- 8 女性が管理職になることへの、女性の意識改革
- 9 その他（
- 10 特に必要だと思うことはない

※ ロールモデル：具体的な行動や考え方の模範となる人のこと

問 13 あなたは、男女がともに仕事も家庭も担っていくために必要なことは何だと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 働く場の増加、職業紹介の充実
- 2 就業のための職業訓練及び研修等の機会の充実
- 3 保育施設、内容、時間延長等の充実
- 4 女性の出産休暇や育児休業、育児時間などの制度の充実
- 5 男性の出産休暇や育児休業、育児時間などの制度の充実
- 6 病人や高齢者などの世話に対する社会的サービスの充実
- 7 家族が病気等の場合の看護・介護休暇などの制度の充実
- 8 企業に対して、男女差別の是正や女性雇用の奨励と充実
- 9 職場でのハラスメント（いやがらせ）の防止
- 10 パートナーや家族の理解・協力
- 11 女性自身の職業意識の高揚
- 12 同じ職場の人たちの理解・協力
- 13 総労働時間短縮等の労働条件の改善・充実
- 14 短時間勤務制度や在宅勤務制度を導入するなど柔軟な働き方の推進
- 15 その他（
- 16 特に必要だと思うことはない

4 社会活動・地域活動について

問 14 あなたは、自治会長や町内会長、地域の防災組織のリーダーなど、地域活動にかかわる役職の性別についてどう思いますか。(1つに○)

- 1 できるだけ、男性になるほうがよい
- 2 どちらかという、男性になるほうがよい
- 3 適任者であれば、男女どちらでもよい
- 4 どちらかという、女性になるほうがよい
- 5 できるだけ、女性になるほうがよい

問 15 あなたは、自治会長や町内会長、地域の防災組織のリーダーなど、女性が地域活動のリーダーとなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

- 1 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと
- 2 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと
- 3 社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること
- 4 女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと
- 5 女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること
- 6 その他()
- 7 特に必要だと思うことはない

5 多様性の尊重と人権について

5-1 「LGBT」について伺います

問 16 あなたは、「LGBT」という言葉を知っていますか。(1つに○)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが意味は知らない
- 3 言葉も意味も知らない

問 17 問 16 で「1 言葉も意味も知っている」と答えた方にお伺いします
あなたは、現在、LGBTなどの性的少数者の人々にとって、生活しづらい社会だと思いますか。(1つに○)

- 1 思う
- 2 どちらかと言えば思う
- 3 どちらかと言えば思わない
- 4 思わない

問 18 問 17 で「1 思う」、「2 どちらかと言えば思う」と答えた方にお伺いします
あなたは、LGBTなどの性的少数者の人々が生活しやすくなるためにどのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

- 1 子どもたちが正しく理解をするための学校教育の充実
- 2 住民が正しく理解をするための啓発活動の充実
- 3 働きやすい職場環境づくりの推進
- 4 相談機関の充実
- 5 当事者や支援団体、行政等が横の繋がりを持つことや意見交換を行う
- 6 その他()
- 7 特に必要だと思うことはない

5-2 ハラスメントについて伺います

問 19 あなたは、次のようなハラスメントを経験したり、身近で見たり聞いたりしたことがありますか。(①～③の各項目について、それぞれあてはまるものに○)

	受けた 経験について		身近で見たり 聞いたりした ことについて	
① セクシュアル・ハラスメント【セクハラ】 (職場などにおける性的嫌がらせ、相手の望まない性的な言動等。 相手は異性に限らず、同性同士でも起こる場合がある)	ある	ない	ある	ない
② パワー・ハラスメント【パワハラ】 (職場などで、職務上の地位や人間関係といった権力を利用して、 精神的・身体的苦痛を与える行為や職場環境を悪化させる嫌がらせ 行為のこと。上司と部下の関係に限らず、同僚の関係でも起こる 場合がある)	ある	ない	ある	ない
③ マタニティ・ハラスメント【マタハラ】 (職場などで、働く女性が妊娠や出産を理由に精神的・肉体的な苦痛 を受ける嫌がらせ行為のこと。妊娠や出産を理由とした解雇、雇用 契約の変更などもあたる。相手は異性に限らず、同性同士でも 起こる場合がある)	ある	ない	ある	ない

問 20 問 19 の①～③のいずれかで、受けた経験について「ある」と答えた方にお伺いします
ハラスメントについて、どこ(誰)かに相談しましたか。(1つに○)

- 1 相談した
- 2 相談しなかった(できなかった)

問 21 問 20 で「2 相談しなかった(できなかった)」と答えた方にお伺いします
ハラスメントについて、相談しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 どこ(誰)に相談してよいかわからないから
- 2 自分が受けた行為がハラスメントにあたるのかわからないから
- 3 恥ずかしくて誰にも言えないから
- 4 職場などでの人間関係を壊したくないから
- 5 相談しても無駄だと思うから
- 6 早く忘れたいから
- 7 自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思うから
- 8 自分にも悪いところがあると思うから
- 9 相談するほどのことではないと思うから
- 10 その他 ()

性別にかかわらず全ての人の人権が
尊重される社会へ！



5-3 ドメスティック・バイオレンス（DV）について伺います

問 22 あなたは、配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者からふるわれる暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））を受けた経験や、見たり聞いたりしたことがありますか。（①～⑥の各項目について、それぞれあてはまるものに○）

	受けた 経験について		身近で見たり聞いたり したことについて	
①身体的暴力 (手でなぐる、足でける、身体を傷つける可能性のある物 でなぐる、物を投げつける、突き飛ばす等)	ある	ない	ある	ない
②精神的な暴力・社会的な暴力 (なぐるふりをしておどす、何を言っても長時間無視し 続ける、人格を否定するような暴言をはく、家族や友人 と会うことを制限する等)	ある	ない	ある	ない
③性的な暴力 (いやがっているのに性的な行為を強要する、避妊に協力 しない、妊娠中絶を強要する等)	ある	ない	ある	ない
④経済的な暴力 (生活費を入れない、外で働くことを妨害する、仕事を辞め させる、借金をさせてお金を取り上げる等)	ある	ない	ある	ない
⑤子どもを利用した暴力 (子どもの前で暴力を振るったり暴言を浴びせる、子どもに 自分の言いたいことを伝えさせる、子どもを危険な目に 遭わせる、子どもを取り上げる等)	ある	ない	ある	ない
⑥ストーカー行為 (つきまとい、待ち伏せ、押しかけ、無言電話、連続した 電話・FAX・メール、性的差恥心の侵害等)	ある	ない	ある	ない

問 23 問 22 の①～⑥のいずれかで、受けた経験について「ある」と答えた方にお伺いします
配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））について、どこ（誰）かに
相談しましたか。（1つに○）

- 1 相談した
2 相談しなかった（できなかった）

問 24 問 23 で「2 相談しなかった（できなかった）」と答えた方にお伺いします
配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））について、相談しない・
しなかった理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- 1 どこ（誰）に相談してよいかわからないから
- 2 恥ずかしくて誰にも言えないから
- 3 相談しても無駄だと思うから
- 4 他人を巻き込みたくないから
- 5 早く忘れたいから
- 6 自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思うから
- 7 自分にも悪いところがあると思うから
- 8 相手の行為は愛情の表現だと思うから
- 9 子どもに危害が及ぶと思ったから
- 10 相談するほどのことではないと思うから
- 11 その他（ ）

6 男女共同参画社会について

問 25 あなたは、次にあげる計画・制度について知っていますか。

(①、②の各項目について、1つに〇)

	言葉も内容も 知っている	言葉は知って いるが内容は 知らない	言葉も内容も 知らない
① 大泉町男女共同参画推進計画	1	2	3
② 大泉町パートナーシップ制度	1	2	3

問26 あなたは、次にあげる町関連施設について知っていますか。

(①、②の各項目について、1つに○)

	知っている	知らない
① 大泉町配偶者暴力相談支援センター	1	2
② 大泉町ファミリー・サポート・センター	1	2

問27 あなたは、社会全体では男女共同参画が進んでいると感じますか。

(1つに0)

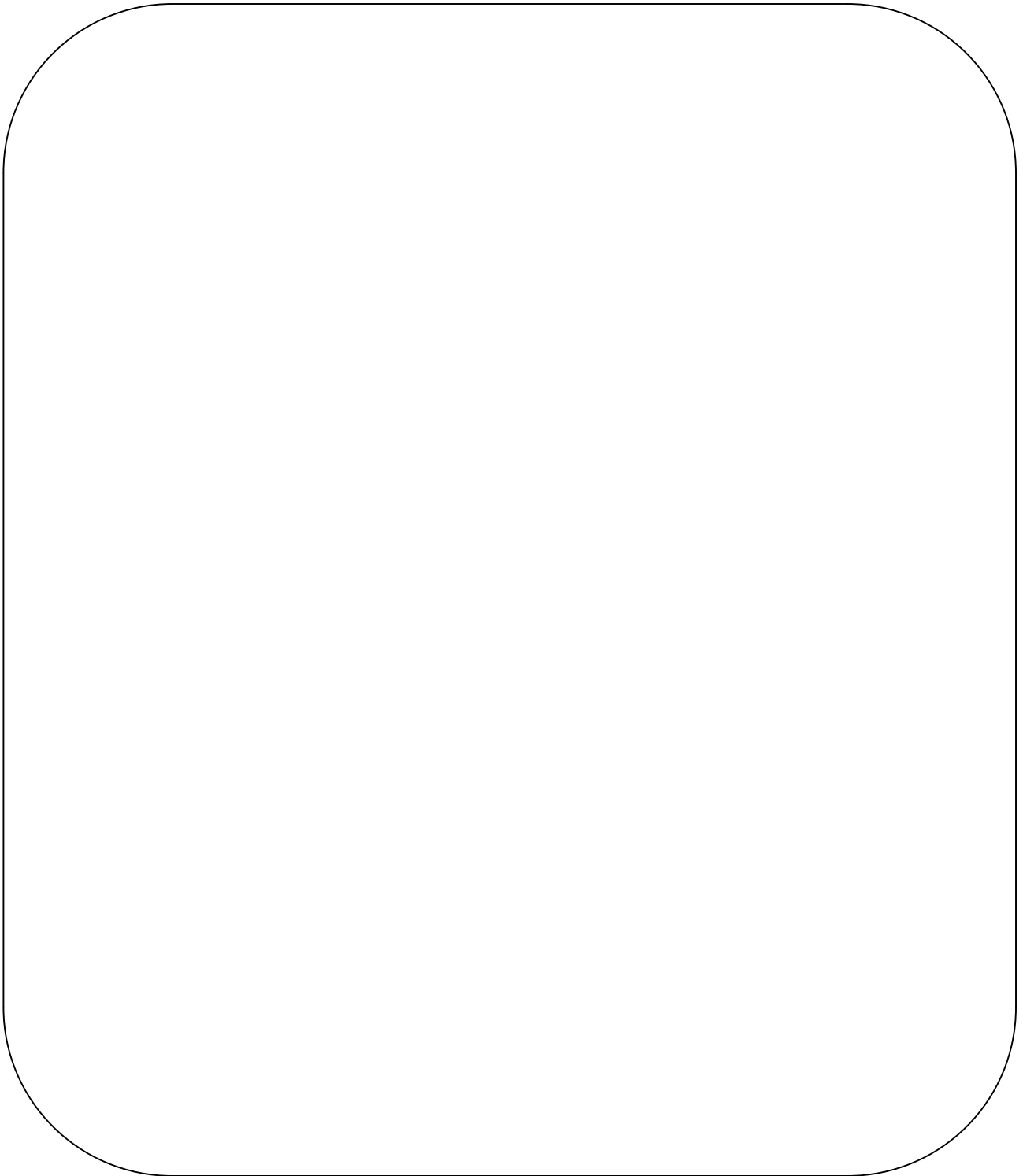
- 1 進んでいる
- 2 少しは進んでいる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり進んでいない
- 5 わからない

問28 今後、大泉町で男女共同参画を推進するために、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

- 1 意思決定の場への女性の積極的な登用
- 2 地域の女性リーダーの発掘・育成
- 3 男女とも育児・介護休業が取得できるような職場環境整備への支援
- 4 子育てや介護で仕事を辞めた人の再就職支援
- 5 育児・介護を支援する施設やサービスの充実
- 6 女性が少ない分野（研究者等）への女性の進出支援
- 7 地域活動における男女共同参画の推進
- 8 女性に対するあらゆる暴力の根絶
- 9 男女ともに働き方・生き方などの悩みを相談できる場の提供
- 10 性別による役割分担の意識、慣習、しきたりの改善
- 11 男女共同参画の学校教育での推進
- 12 男女共同参画に関する学習機会の充実
- 13 男女共同参画に関する情報発信や啓発活動の充実
- 14 防災・災害復興における男女共同参画の推進
- 15 その他（
- 16 特に必要だと思うことはない

男女共同参画についてご意見がありましたら、自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました

最後に、記入もれなどがないか、今一度お確かめの上、同封の返信用封筒（切手不要）にて、3月6日（金）までに郵便ポストにご投函ください。

大泉町 男女共同参画社会に関するアンケート調査 報告書

令和2年9月

大泉町役場 企画部 多文化協働課

電話 0276-63-3111 FAX 0276-63-3921
